

TEPRA

PRO

準備

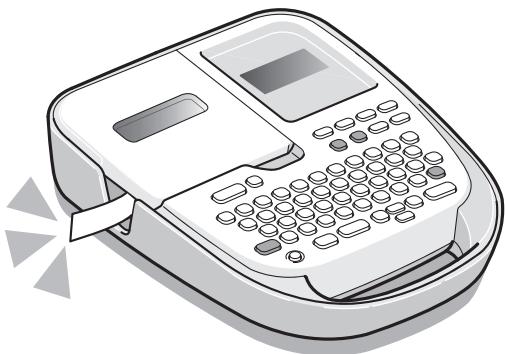
入力

編集

印刷

保存

その他



SR170

取扱説明書

KING JIM

はじめに

このたびは、ラベルライター「テプラ」PRO SR170をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は「テプラ」PRO SR170の使いかたを、「準備」「入力」「編集」「印刷」「保存」「その他」に分けて説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意や、上手に使うためのちょっとしたヒントなど、役立つ情報がいっぱいです。

「テプラ」PRO SR170を本書とともに末永くご愛用いただきますよう、心からお願ひ申し上げます。

- この製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがありますのでご了承ください。
- 本製品は、日本国内専用です。FOR USE ONLY IN JAPAN.
- 本書や基本操作マニュアルの内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書や基本操作マニュアルの内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書や基本操作マニュアルの作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

!! 注意 !!

- 本機で保存する文章などのデータは、基本的に一過性のもので、長時間・永久的な記憶・保存はできません。故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書や基本操作マニュアルに記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KING JIM、テプラ、TEPRA、Pテープマークは株式会社キングジムの商標または登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意…必ずお守りください！

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

本機をご使用のときは、必ず本書や基本操作マニュアルをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

	危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
	警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

- 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	🚫 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険

電池の取り扱いについて



電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明などの障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。



⚠ 警告

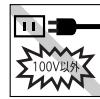
ACアダプタについて



専用のACアダプタ（AC0615J）以外のアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。



ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。

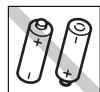


⚠ 警告

電池の取り扱いについて



電池の(+)と(−)を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談してください。



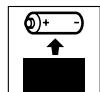
電池の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに水道水などの多量のきれいな水で洗い流してください。



新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。



本製品を長時間使わない場合や、電池を使い切った場合は、本体から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液・発熱・破裂・発火させるおそれがあります。



電池の使いかたを誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。



充電式ニッケル水素電池を使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。



その他



本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。



本機や基本操作マニュアル(保証書付)が入っていた袋は、お子様がかぶったり、飲み込んだりしないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。



⚠ 警告



本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書や基本操作マニュアルに記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。



⚠ 注意

オートカッターについて



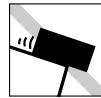
印刷中もしくはカッター作動中にテープ出口付近を指で触れないでください。指を切るおそれがあります。



その他



本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いたところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。



電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



「テプラ」で得られるラベルについて



塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



テープカートリッジの取り扱いについてのご注意

- テープカートリッジを落としたり、分解しないでください。故障の原因となります。



- テープ出口から出ているテープを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。故障の原因となります。



- テープカートリッジは直射日光・高温・多湿・ホコリを避け、冷暗所に保管してください。



テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。

MEMO

使用済みのカートリッジには、印刷済みのインクリボンが入っています。

印刷済みのインクリボンは必要に応じてお手元で廃棄してから回収に出してください。

テープカートリッジの回収およびリユース（再利用）について

当社では使用済み「テプラ」テープカートリッジの回収をおこなっています。

使用済みの「テプラ」テープカートリッジは、当社にてリユース（再利用）をおこないますので、テープカートリッジを分解せず、当社までお送りください。

回収方法については、当社ホームページをご確認ください。

https://kingjim.jp/tepra_recycle/



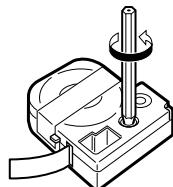
テープカートリッジをセットするときのご注意

テープカートリッジをセットするときは、以下の注意をお守りください。

■ セット前に、必ずインクリボンのたるみを取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いてたるみを取ってください。

インクリボンにたるみがあると、本機にセットする際、インクリボンが印刷ヘッドに接触し、インクリボンが折れ曲がったり、破れたりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。



■ 正しく本機にセットする

テープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。

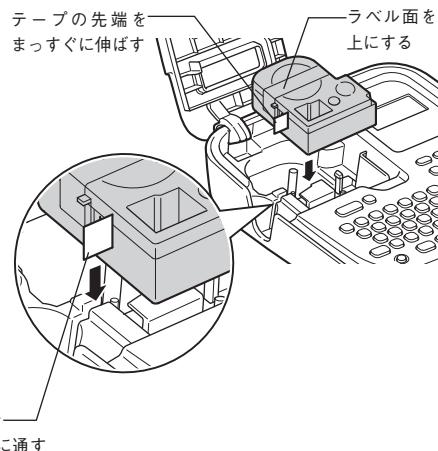
正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。

新品のテープカートリッジをセットするときやテープの先端が長めに出ているときは、テープの先端をまっすぐに伸ばし、テープを「テープ通路」のミソに通します。

テープカートリッジを本機に正しくセットせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出すなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.15「各部の名前とはたらき」

参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」



■ セットした直後は必ず「テープ送り」をする（**（シフト）+ [印刷]**）

テープカートリッジを本機にセットした直後は、テープやインクリボンにたるみが発生します。そのたるみを取るため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

「テープ送り」または「送りカット」をせずに印刷すると、テープが折れ曲がって出てきたり、インクリボンが飛び出したりするなど、テープカートリッジの故障・損傷の原因となります。

参照☞P.25「5. テープ送りをする」

その他のご注意

本機のご使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。

- ACアダプタは、使い終わったら本機から抜き、コンセントからも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故を防げます。
- 直射日光の当たる場所、車内など熱がこもる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- 人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。
- ACアダプタ差込み口、テープ出口などに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- 印刷ヘッドには、絶対に手を触れないでください。
- 本機の性能を十分に発揮するため、キングジム純正「テプラ」PROテープカートリッジ（4、6、9、12、18mm幅）をお使いください。キングジム純正テープカートリッジ以外を使用した場合の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 使い終わったテープカートリッジのご使用や、テープカートリッジをセットせずに〔印刷〕を押すことはおやめください。印刷ヘッドが過熱し故障の原因となります。
- テープ送りは、必ず〔フロント〕+〔印刷〕（=テープ送り）でおこなってください。無理に手で引っ張つたりすることは、絶対におやめください。テープ出口から出ているテープを引っ張ると、正常に印刷がおこなえず、そのテープカートリッジが使用不能になることがあります。
- テープカートリッジはていねいに扱い、衝撃を与えないでください。
- キーボードの操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- テープ排出時に動作音がしますが、異常ではありません。
- 幅の狭いテープや短いラベルを排出するときに、カットされたラベルが飛び出す場合があります。
- テープをハサミで切るときに指をはさまないように注意してください。
- オート・パワーオフ機能に頼らず、ご使用後は必ず電源を切り、ACアダプタをご使用の場合は抜いてください。
- 電源を切るときには終了のメッセージが表示されます。メッセージ表示中は終了処理をしていますので、ACアダプタを抜かないでください。
- 長時間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。
- 長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れしたりすることがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- 寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。
- 本書や基本操作マニュアルに記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因となることがあります。
- 本書や基本操作マニュアルに記載された内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがあります。
- 本書や基本操作マニュアルで使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

本書の使いかた

本書の構成

本書は次のような構成になっています。

準備

本機を使用する前の準備作業について説明しています。

入力

文字入力の基本操作と段落の追加などテキスト画面での操作について説明しています。初めて「テプラ」PROシリーズをお使いになる方は、順を追って読まれることをおすすめします。

編集

文字サイズや書体機能など、ラベルの見栄えをよくする機能の情報を操作ボタンごとにまとめて説明しています。

印刷

基本的な印刷から特殊印刷まで説明しています。

保存

ファイル登録機能について説明しています。

その他

技術的な情報を説明しています。必要に応じてお読みください。

本書の見かた

本書は次の表記で記述しています。

【表記】	【説明】
①、②	操作の手順を示しています。
(M)、(C)	文字ボタンを示しています。 ボタン上側の文字は省略して表記している場合があります。
(文字サイズ)、(編集)	機能ボタンを示しています。
(◀)(▶)(▲)(▼)	カーソルを移動したり、メニューを選ぶボタンを示しています。
参照	関連する事項の参照ページを案内しています。
MEMO	知っておくと便利な補足情報を説明しています。
!!注意!!	その機能の制限や条件など注意していただきたいことを説明しています。

ラベル見本について： 本書で使用しているラベル見本はすべてイメージです。本機で印刷したラベルを、説明用に縮小や余白の調整をして使用しています。

目次

はじめに

安全上のご注意…必ずお守りください！	1
テープカートリッジの取り扱いについてのご注意	4
テープカートリッジをセットするときのご注意	5
その他のご注意	6
本書の使いかた	7
本書の構成	7
本書の見かた	7
同梱品の確認	10
別売品のご案内	11
まず使ってみよう…	
すぐ使いたい人のために	12
「テプラ」PRO SR170の特長	14

準備

各部の名前とはたらき	15
本機各部の名前（表）	15
本機各部の名前（内部）	15
本機各部の名前（裏）	16
操作パネルの名前とはたらき	17
ディスプレイの見かたとはたらき	19
ディスプレイ（画面）の見かた	19
使う前の準備	21
1. ACアダプタを接続する	21
2. 電池（別売）を入れて 使用するときは	21
3. テープカートリッジをセットする	23
4. 電源を入れる	24
5. テープ送りをする	25
使い終わったら（電源を切る）	26
電源を切る	26

入力

文字を入力する	27
入力方式の設定	27
文字入力の仕方	27
ひらがな・カタカナを入力する （ローマ字入力）	28
ひらがな・カタカナを入力する （かなめくり入力）	29
漢字を入力する	30
英数字を入力する	31
文字ボタンの記号を入力する	32
スペースを入力する	34

文章を作る	35
カーソルボタンの使いかた	35
文章を入力する	35
文字を削除する	36
文字を挿入する	36
すべての文章を消去する	36
行を増やす（改行）	37
新しい行を作る	37
行の途中で改行する／改行を取り消す	38
段落を増やす（改段落）	39
新しい段落を作る	39
段落を分割する	40
絵・記号を使う	41
絵・記号メニュー一覧	41
絵・記号を入力する	42
イラストを入力する	43
マークを作成する	44
2桁の数字を入力する	45
読みのわからない漢字を入力する （コード入力）	46

編集

ラベルの向きを変える（縦・横）	47
文字サイズを指定する	48
書体を変える	49
〔編集〕の機能を使いこなす	50
編集メニュー一覧	51
〔編集〕機能の説明	53

印刷

印刷を始める前に	58
印刷イメージを確認する （プレビュー）	58
テープ送り	59
テープ送りメニュー一覧	59
テープ送りをする	59
指定した長さでテープ送りをする	60
印刷する	61
カット設定を変更する	62
ラベルを貼る	63
特殊な印刷	64
特殊印刷メニュー一覧	64
りぼん連続印刷をする	64
鏡文字印刷をする	65
お名前タグ印刷をする	66
ピッとコード印刷をする	67

保存

文章を呼び出す・登録する（ファイル）	69
ファイルを登録する	69
ファイルを呼び出す	70
ファイルを消去する	70

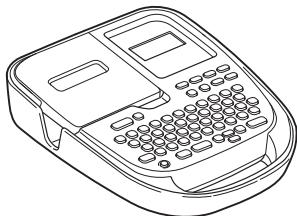
その他

環境設定を変更する	71
環境設定メニュー一覧	71
入力方式を変更する	72
印刷濃度を調整する	72
各種の初期値（保存値）を設定する	73
電池種類を変更する	74
本機を初期化する	75
初期化する	76
デモ印刷をする	77
テープカートリッジを使いわける	78
こんな表示が出たときは	79
ディスプレイが消えたときは	79
エラーメッセージが表示されたときは	79
故障かな？と思ったら	81
正常な動作をしない	81
を押してもディスプレイに何も表示されない	81
ディスプレイが消える	81
を押しても何も印刷されない	81
文字がきちんと印刷されない	81
ラベルを印刷後、自動カットされない	82
文章の途中までしか印刷されない	82
ファイルの内容が消えてしまった	82
ラベルを貼り付けることができない	82
お手入れについて	83
本機外側の汚れ・ホコリは	83
印刷が欠けたりカスレたりする場合	83
ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う	83
入力文字一覧表	85
文字ボタン配列	85
入力文字表	85
入力文字表（かなめくり入力）	87
漢字変換表	88
JIS第1水準	88
JIS第2水準	92
その他	93
絵・記号一覧表	94
絵文字	94
イラスト	96
マークデザイン	96
記号	96
2桁数字	97

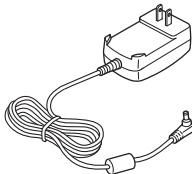
外枠・表組み一覧表	98
ローマ字変換表	99
おもな仕様	100
索引	102
アフターサービスについて	
巻末	

同梱品の確認

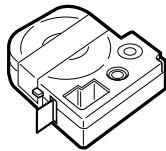
同梱品がすべて揃っているか、確認してください。



「テプラ」PRO SR170本体



ACアダプタ（AC0615J）



試用PROテープカートリッジ

※ SR170、SR170AM、SR170RYAZのみ同梱となります。



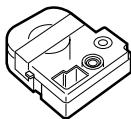
基本操作マニュアル（保証書付）

MEMO

- ・本書は同梱されておりません。
- ・本機には、電池は同梱しておりません。電池でお使いになる場合は、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）をお買い求めください。

別売品のご案内

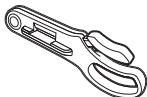
本機には、以下の製品がオプションとして用意されています。本機と合わせてご利用ください。



ヘッド・クリーニングテープ

(SR18C)

「テプラ」本体のヘッドクリーニング用のテープです。

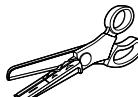


ハーフカッター (RH24)

ラベルの印刷面にスリットを入れて、ラベルの裏紙をはがしやすくなります。

対応ラベル：4～24mm 幅

※本機の対応ラベルは4～18mm幅です。



トリマー (RT36W)

ラベルのカドを丸くカットして、はがれに強い、きれいなラベルに仕上げるハサミ型トリマーです。ラベルの前後余白調整にも便利です。

対応ラベル：4～36mm幅

※本機の対応ラベルは4～18mm幅です。



お名前タグメーカー (SRT10)

「テプラ」PROテープカートリッジ に「スナップボタン」を取り付けて、オリジナルのお名前タグが作れます。



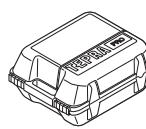
スナップボタン (SRTB1)

プラスチック製のボタンが20組入った「お名前タグメーカー」専用のオプション品です。



セミハード収納ケース
(SR11B)

軽くて丈夫なセミハードタイプのケースです。A4サイズの棚に入るコンパクトなサイズ。インテリアにもなじむ落ち着いたカラーです。



システムトランク (SR10BT)
耐衝撃性に優れたトランクです。

「テプラ」PRO本体をはじめ、テープカートリッジ、同梱品、別売品などを一括して持ち運び、また保管することができます。



システムケース (SR9H)

A4ボックスサイズに「テプラ」PRO本体とACアダプタ、テープカートリッジ（12mm幅10個分）などが収納可能です。印刷済みラベルの整理用ラベルファイル付きです。



テープカートリッジケース
(SR4TH)

A4ボックスサイズにテープカートリッジ（12mm幅40個分）が収納可能です。4つのボックスでテープ色・幅・種類ごとに整理できます。

MEMO

詳細については、当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧いただくな、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

まず使ってみよう…すぐ使いたい人のために

ラベル作成の準備をします。参照 P.21「使う前の準備」

- ① ACアダプタを本機に接続する

- ② テープカートリッジをセットする

上カバーをしっかり閉じてください。

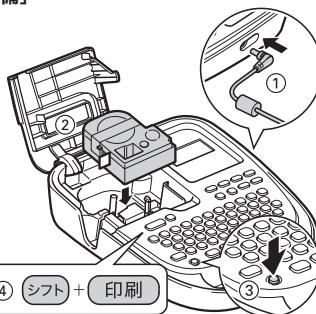
準備

- ③ 電源を入れる

- ④ テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は必ず
テープ送りをしてください。

参照 P.25「5. テープ送りをする」



印刷する文字を入力します。参照 P.27「文字を入力する」

- ① を押しながら (=環境設定) を押す

- ② で「入力方式」を選び を押す

環境設定
入力方式



- ③ で「ローマ字」または「かなめくり」を選ぶ

入力方式
ローマ字

入力方式
かなめくり

- ④ 文字を入力する→仮確定文字（ネガ表示）で入力されます

① いとう

ローマ字入力 : ①₁、②_T、③_O、④_U

かなめくり入力 : ⑤_あ × 2回、⑥_た × 5回、⑦_お × 3回

文字を入力する
(例: 伊藤)

- ⑤ 「伊藤」が表示されるまで を押す

いとう
伊藤

候補が表示されます。

を押すたびに候補が変わります。

- ⑥ を押す→「伊藤」が確定します

① 伊藤 |

行頭マークが①に変わります。



ラベルの見栄えを変更するには…

〔書体〕…押すたびに書体を切り替えます。

〔文字サイズ〕…押すたびに文字サイズを切り替えます。

〔縦・横〕…押すたびにラベルの向きを切り替えます。

その他の機能については「〔編集〕の機能を使いこなす」を確認してください。

参照☞P.50

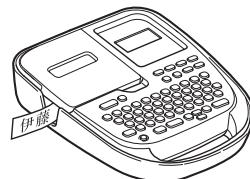
印刷する

① [印刷] を押す→ラベルが印刷されます

印刷終了後、テープは自動カットされます。

テープは絶対に手で引っ張らないでください。

参照☞P.61「印刷する」



ラベルを貼る

① 裏紙をはがし、しっかりとこすって貼り付ける

参照☞P.63「ラベルを貼る」



「テプラ」PRO SR170の特長

■ 見やすくかわいい書体を搭載！

「ゴシック」「明朝体」「てがき」の3書体を内蔵。表現豊かなラベル作りを演出します。

■ 6行印刷、改段落に対応！

テープ幅により最大6行まで印刷ができます。改段落を使えば、6行×2段落のラベルが作成できます。

■ PROテープ4~18mm幅に対応

さまざまな用途に適したテープも充実。名前付けに便利な極細4mmテープから、オフィスの整理整頓に最適な18mmテープ幅テープまで、豊富な種類のPROテープカートリッジに対応しています。

※「カットラベル」には対応しておりません。

■ 「お名前タグ」印刷機能で簡単にオリジナルタグが作成可能

PROテープカートリッジ りぽんをセットし、名前を入力して、「お名前タグ印刷」ボタンを押すだけ。「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使えば、簡単にお名前タグを作れます。

※PROテープカートリッジ りぽん、「お名前タグメーカー」、「スナップボタン」は別売品です。

■ 「ピッとコード」印刷機能で写真や動画などのコンテンツを素早く呼び出すことが可能

「ピッとコード」ボタンを押して、印刷した二次元コードを専用iOSアプリで読み取れば、アプリにひも付けられた写真や動画、テキストなどをすぐに呼び出すことができます。

※ご利用になるには専用iOSアプリが必要となります（無料）。

■ 6文字×2行の液晶表示

6文字×2行の液晶画面で、2行印刷も見やすく表示。ラベルの作成がスムーズにできます。

■ オートカッターで手間いらず

印刷したラベルを自動的にカットするオートカッターを搭載しています。

※一部対応できないテープがあります。参照☞P.78

■ 豊富な記号・外枠・表組み

数字や単位など実用的な記号や、食べ物、予定、表示用などオフィスや家庭で活用できる便利な絵文字が満載。ラベルを演出する外枠は72種類・表組み4種類を搭載しています。

■ 便利なダイレクトキー

使用頻度の高い「縦・横」「文字サイズ」「書体」の設定がワンタッチで切り換えられます。

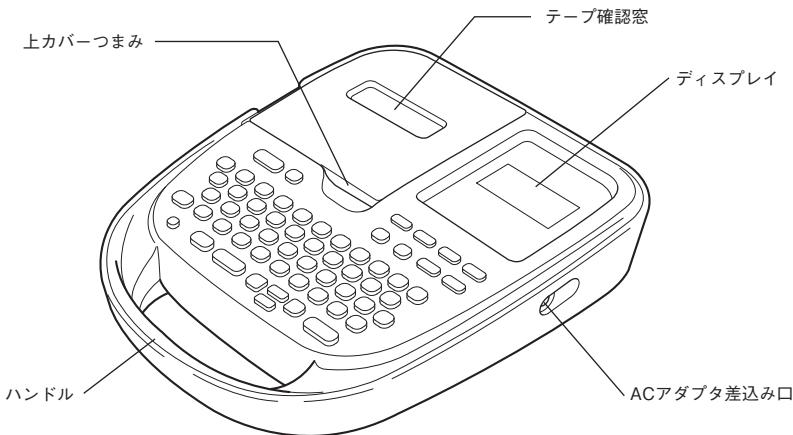


準備

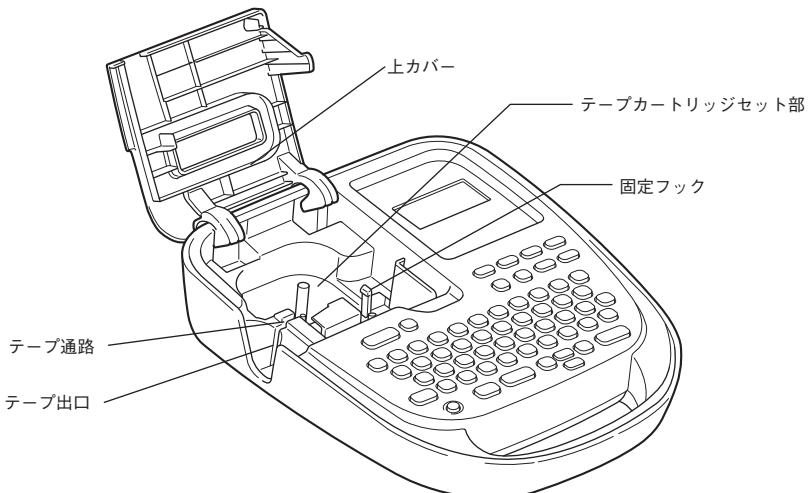
各部の名前とはたらき

本機各部の名前（表）

準備

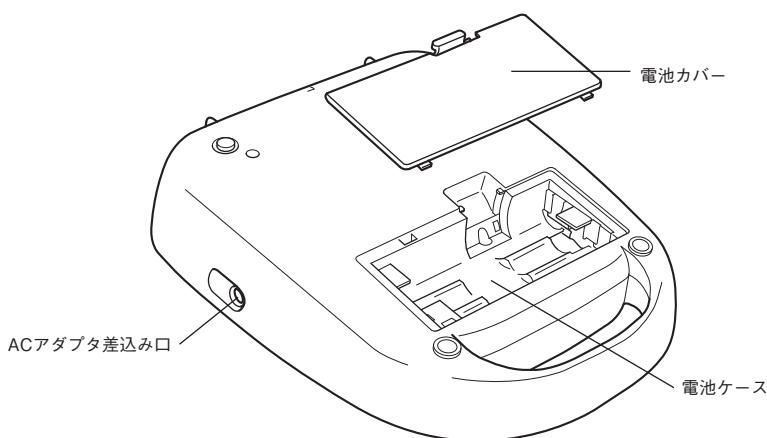


本機各部の名前（内部）

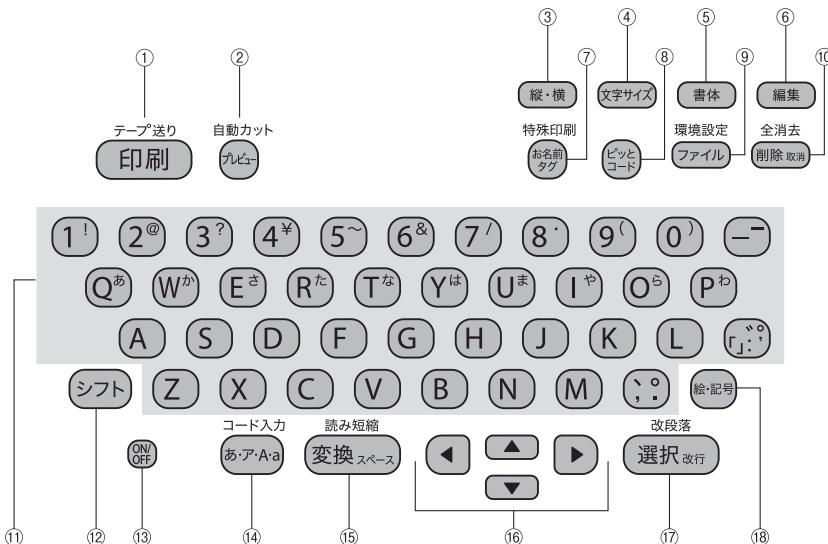


本機各部の名前（裏）

準備



操作パネルの名前とはたらき



各ボタンの機能を説明します。[シフト]+[...]となっている表記は、[シフト]を押しながらそのボタンを押したときの機能です。

① [印刷] (印刷)

入力内容をテープに印刷し、テープを自動的にカットします。

参照☞P.61

[シフト]+[印刷] (=テープ送り)

テープを約18mm空送り、またはカットします。送り長さを指定して空送りすることもできます。

参照☞P.25

② [プレビュー] (プレビュー)

印刷イメージを確認します。

参照☞P.58

[シフト]+[カット] (=自動カット)

自動カットの設定を変更します。

③ [縦・横] (縦・横)

たて書き/よこ書きを切り替えます。

参照☞P.47

④ [文字サイズ] (文字サイズ)

文字サイズを指定します。

参照☞P.48

⑤ [書体] (書体)

文字の書体を指定します。

参照☞P.49

⑥ [編集] (編集)

文字の装飾やラベルのレイアウト、ラベルの長さなどを指定します。

参照☞P.47

⑦ [お名前タグ] (お名前タグ)

お名前タグ印刷をします。

参照☞P.66

[シフト]+[名前タグ] (=特殊印刷)

りぼん連続印刷、鏡文字印刷をします。

参照☞P.64

⑧ [ピットコード] (ピットコード)

ピットコード印刷をします。

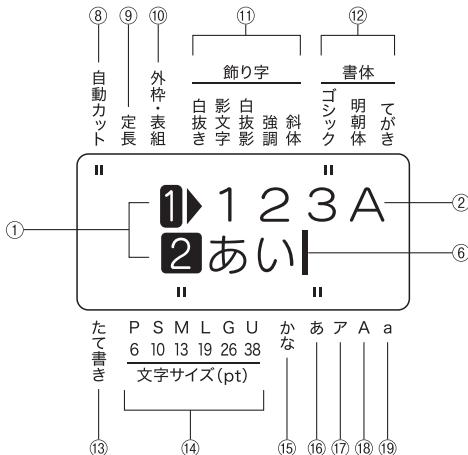
参照☞P.67

- ⑨ **(ファイル)** (ファイル)
ファイル操作（登録/呼出/消去）をします。
参照☞P.69
- シフト + (ファイル)** (=環境設定)
入力方式や印刷濃度、保存値、電池種類を設定します。
参照☞P.71
- ⑩ **削除 取消** (削除、取消)
カーソル位置（カーソルの左側）の文字を削除します。各種機能の操作中は操作が取り消されます。
参照☞P.36
- シフト + 削除 取消** (=全消去)
文章を消去します。
参照☞P.36
- ⑪ **文字ボタン** (T^a、E^o、P^b、R^f、A^dなど)
文字を入力します。
参照☞P.27
- ⑫ **シフト** (Shift)
機能ボタンと一緒に押すと、機能ボタンの上部に書かれた機能がはたらき、文字ボタンと一緒に押すと、大文字や英記号などを入力できます。
- ⑬ **ON/OFF** (電源)
電源をON/OFFします。
参照☞P.24
- ⑭ **あアA-a** (入力モード)
入力モードを、「ひらがな→カタカナ→ABC（大文字）→abc（小文字）」の順で切り換えます。ひらがなまたはカタカナで入力後、確定していない文字の切り換えもおこないます。
参照☞P.27
- シフト + あアA-a** (=コード入力)
確定していない文字の切り換えをおこないます。ネガ文字や仮確定文字がないときは、読みのわからない漢字をコードで入力します。
参照☞P.46
- ⑯ **変換 スペース** (漢字変換、スペース入力)
ネガ表示のひらがなを漢字に変換します。ネガ文字がないときは、スペースを入力します。漢字変換中は、次の変換候補を表示します。
参照☞P.30、P.34
- シフト + 変換 スペース** (=読み短縮)
漢字変換中、変換対象となる「読み」を短縮します。
- ⑯ **◀ ▶ ▷** (カーソルボタン)
カーソルや選択候補を上下左右に移動します。
参照☞P.35
- ⑰ **選択 行** (選択、改行)
機能選択時の選択肢や、文字の入力、変換を確定します。ネガ文字や仮確定文字がないときは、新しい行を作ります（改行）。
参照☞P.37
- シフト + 選択 行** (=改段落)
新しい段落を作ります。
参照☞P.39
- ⑱ **絵記号** (絵・記号)
絵文字、イラスト、マーク、記号、2桁数字を入力します。
参照☞P.41

ディスプレイの見かたとはたらき

ディスプレイ（画面）の見かた

■ テキスト画面



① 行頭マーク (1 2...☒, 1 2...☒)

行頭に表示され、何行目かを示します。①、②は印刷できる行を表し、①、②はその行に文字がまだ入力されていない（確定していない）ことを表しています。

☒、☒は印刷できない行を表しています。
☒が表示されているときは、印刷できません。
参照☞P.28、P.37

② 確定文字 (例: 123A)

入力が確定した文字で、印刷されます。

あアAaで変換された直後は、仮確定の状態になり、続けてあアAaで変換できます（仮確定文字も印刷されます）。仮確定文字は、選択実行を押すか、続く文字を入力すると確定します。

仮確定文字は変換スペースで漢字変換できません。

③ ネガ文字 (例: あい)

入力中の文字で印刷されません。変換スペースで漢字に、あアAaでひらがな、カタカナ、ABC（大文字）、abc（小文字）に変換できます。

参照☞P.28

④ 点滅文字

かなめぐり入力途中または、☒、☒ボタンによる記号めぐり入力途中の未確定の文字で、同じボタンを連続して押すと文字候補が順に表示されます。

点滅表示の文字は、印刷されません。

⑤ 文字モード指定マーク (▶)

行、段落単位で、飾り字などの機能を変更すると表示されます。

参照☞P.50

⑥ カーソル (|)

操作を実行する場所を示します。カーソル位置を基準に、文字や記号を挿入したり削除できます。

参照☞P.35

⑦ フルメモリーマーク (◀)

入力可能文字数（約90文字）をオーバーして、これ以上文字が入力できないときに表示されます。

- ⑧ **自動カットインジケーター**
自動カットが「する」に設定されているときに点灯します。
- ⑨ **定長インジケーター**
定長印刷が指定されているときに点灯します。
- ⑩ **外枠・表組インジケーター**
外枠や表組みが指定されているときに点灯します。
- ⑪ **飾り字インジケーター**
カーソル位置の文字に飾り字が指定されているときに点灯します。
- ⑫ **書体インジケーター**
カーソル位置の文字に対応した書体が点灯します。
- ⑬ **たて書きインジケーター**
「たて書き」が指定されているときに点灯します。
参照☞P.47
- ⑭ **文字サイズインジケーター**
カーソル位置の文字サイズに対応したインジケーターが点灯します。
数字はポイント数（pt）を表しています。
※ 1ptは約1/72インチ（約0.35mm）です。
参照☞P.48
- ⑮ **かなめくり入力インジケーター**
入力方式が「かなめくり入力」に設定されているときに点灯します。
- ⑯ **ひらがな入力インジケーター**
「ひらがな入力」モードのときに点灯します。
- ⑰ **カタカナ入力インジケーター**
「カタカナ入力」モードのときに点灯します。
- ⑱ **アルファベット大文字入力インジケーター**
「ABC（大文字）入力」モードのときに点灯します。
- ⑲ **アルファベット小文字入力インジケーター**
「abc（小文字）入力」モードのときに点灯します。

使う前の準備

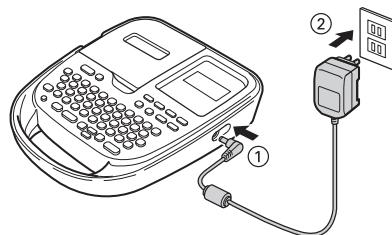
1. ACアダプタを接続する

専用のACアダプタ（AC0615J）で、家庭用コンセント（AC100V）から電源を取ります。

- ① ACアダプタのプラグを本機右側面のACアダプタ差込み口にしっかりと差し込む

※ 差し込みが不十分だと電源が入らない場合があります。

- ② ACアダプタの電源プラグを家庭用コンセントに差し込む



!! 注意 !!

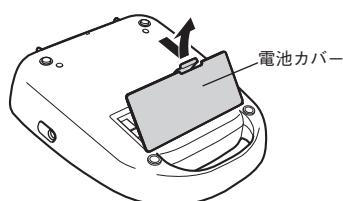
- 使い終わったらすぐにACアダプタをコンセントから抜き、本機からも抜いておきましょう。コードを引っかけるなどの思わぬ事故も防げます。
- ACアダプタのコードは強く引っ張ったり、繰り返し折り曲げたりすると、断線することがあります。
- プラグのショートなどにより、安全機能がはたらきACアダプタの回路が遮断されることがあります。
- ACアダプタは保証対象外です。

2. 電池（別売）を入れて使用するときは

本機にアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本：別売）をセットします。外出先などでACアダプタを使えないとき、この電池を電源にして印刷できます。

- ① 電池カバーをはずす

レバーを手前に引きながら電池カバーを持ち上げます。

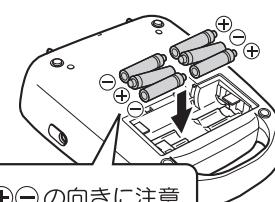


!! 注意 !!

必ず、電源を切ってからおこなってください。

- ② 電池を入れる

電池の向きに注意して、アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）を入れます。

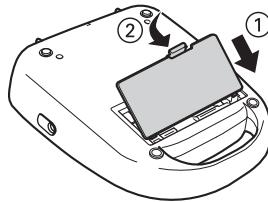


!! 注意 !!

充電式ニッケル水素電池を使用する場合は、環境設定から「電池種類」を設定してください。
参照☞P.74「電池種類を変更する」

③ 電池カバーをはめる

電池カバーの手前の突起を本機のミゾに合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりとカバーをはめます。



!!注意!!

- ・電池カバーはしっかりとはめてください。
- ・本機には単3形アルカリ乾電池または単3形充電式ニッケル水素電池をお使いください。その他の乾電池は使用できません。
- ・電池でも印刷できるだけの電源容量がありますが、電池での印刷は大変不経済です。できるだけACアダプタをお使いください。
- ・ACアダプタは、必ず専用のACアダプタ（AC0615J）をお使いください。
- ・ニッケル水素電池を使用するときは、環境設定で電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。設定変更をしないと、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことがあります。ただし設定を変更しても、電池の状態や使用条件によっては、消耗を知らせるメッセージが表示されないことがありますのでご了承ください。
参照☞P.74「電池種類を変更する」
- ・本機に充電機能はありません。ニッケル水素電池を使用する際には、必ず専用の充電器を使って、充電してください。

充電式ニッケル水素電池について

ニッケル水素電池は専用の充電器を使って充電すると、使用できるようになります。ニッケル水素電池をお使いの際には、以下のことをお守りください。

- ・ $(+)$ $(-)$ 極に汚れがあると、正常に充電できない場合があります。 $(+)$ $(-)$ 極と充電器の端子を乾いた柔らかい布でていねいにふいてください。
- ・お買い上げ時や、長期間使用していなかったニッケル水素電池は、十分に充電されない場合があります。これは電池の特性によるもので異常ではありません。充電を数回繰り返すことで正常に戻ります。
- ・電池容量を使い切ってから充電することをおおすすめします。電池容量を使い切らずに充電を繰り返すと、電池容量が持続しにくくなることがあります（メモリー効果といいます）。
- ・メモリー効果が発生したときは、印刷できない状態まで使い切ってから満充電を数回繰り返してください。電池容量が回復します。
- ・ニッケル水素電池は使用しないときでも自然放電により電池容量が低下することがあります。
- ・お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。
- ・ニッケル水素電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので新しい電池をお買い求めください。
- ・寿命は保管方法や使用状況、環境によって異なります。
- ・不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで最寄りの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

<https://www.jbrc.com/>

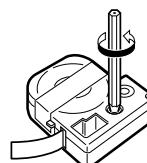
MEMO

- 電池が消耗すると、ディスプレイに「電池を交換！」と表示されます。直ちにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）に交換するか、ACアダプタ（AC0615J）をお使いください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。
- 新品のアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）では、常温で18mm幅のテープカートリッジ（8m）を1本は印刷できます。ただし、温度の低いところで使用したり、大きな文字を印刷したりすると、電池が早く消耗します。印刷時は、ACアダプタ（AC0615J）を利用することをおすすめします。
- ご使用後は必ず電源を切ってください。
- 長期間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため電池を取り出して保存してください。
- 寿命となった電池は、定められた条例に従って廃棄してください。

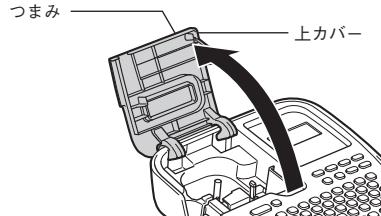
3. テープカートリッジをセットする

① インクリボンの「たるみ」を取る

セットするテープカートリッジの穴に鉛筆などを差し込み、矢印方向に軽く巻いて、「たるみ」を取ってください。

**② つまみ部分を持って、上カバーを開ける**

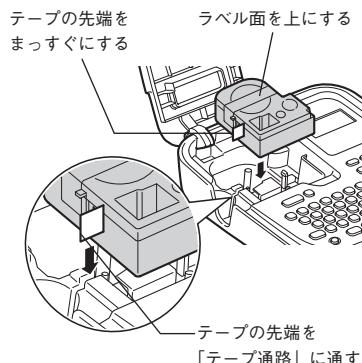
上カバーのつまみ部分を持ち上げてカバーを開けます。

**!! 注意 !!**

- 必ず、電源を切ってからおこなってください。
- 上カバーは図の位置で止まります。無理に開けないでください。
- 上カバーを持って、本機を持ち上げないでください。カバーがはずれて本体が落下すると、けがや本体が破損するおそれがあります。

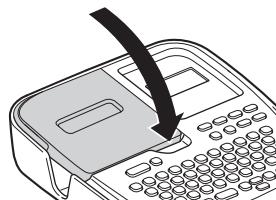
③ テープカートリッジをセットする

セットするテープカートリッジをラベルの貼ってある面を上にして、しっかりと押し込みます。正しくセットすると、本機の固定フックにテープカートリッジが固定されます。テープの先端が長めに出ているときや新品のテープカートリッジをセットするときは、曲がったテープの先端をまっすぐにし、テープを「テープ通路」のミゾに通します。



④ 上カバーを閉じる

上カバーを指で軽く押してしっかりと閉じます。

**!!注意!!**

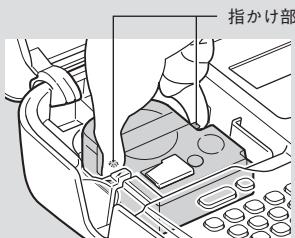
- ・テープカートリッジをしっかりと押し込まらずに上カバーを閉じると、本機やテープカートリッジが破損するおそれがあります。
- ・上カバーはしっかりと閉じてください。

!!注意!!

- ・本機では、4mm、6mm、9mm、12mm、18mmの5種類の幅のテープカートリッジを使用することができます。ただし、テープ幅によって印刷できる行数は異なります。
参照☞P.37「■ テープ幅と印刷できる行数」
- ・テープカートリッジは、直射日光、高温、多湿、ホコリを避け、冷暗所に保管してください。
- ・テープカートリッジ開封後はできるだけ早めにお使いください。
- ・テープカートリッジは奥までしっかりとセットしてください。
- ・本機で使用できない幅のテープカートリッジをセットした場合や正しくセットしていない場合は、「テープ確認！」や「テープ無し！」と表示されます。本機で使用可能なテープカートリッジを正しくセットしてください。

MEMO**テープカートリッジの取り出しかた**

美しい印刷を安定しておこなうために、テープカートリッジは本体にしっかりと固定されています。取り出すときは、カートリッジ側面の指かけ部に指をかけ、まっすぐ上に持ち上げて取り出します。

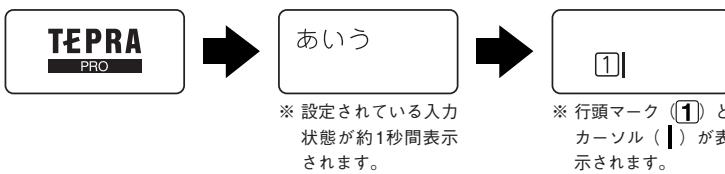
**4. 電源を入れる**

電源を入れる前にもう一度確認してください。

- ・ACアダプタは、本機とコンセントに正しく接続されていますか？
- ・電池は正しくセットされていますか？（電池で使用する場合）

① ON/OFF を押す

電源が入るとタイトル画面が表示されます。



すでにテキストが入力されているときは、タイトル画面のあとにテキストが表示され、指定されている機能のインジケーターが点灯します。

参照☞ P.19「ディスプレイ（画面）の見かた」

MEMO

オート・パワーオフ

電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電池の消耗を防ぐため、オート・パワーオフ機能により自動的に電源が切れます（電源が切れても入力した文章はなくなりません）。をもう一度押すと、オート・パワーオフ直前の状態に戻ります。

使わないときは、こまめに電源を切るとオート・パワーオフよりさらに電池を節約できます。

5. テープ送りをする

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取りため、必ず「テープ送り」または「送りカット」をしてください。

① を押しながら (=テープ送り) を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。

テープ送り
送りカット

② で「テープ送り」または「送りカット」を選ぶ

③ を押す

「テープ送り」の場合は、テープが約18mm空送りされます。

「送りカット」の場合は、空送りされたあと、テープが自動的にカットされます。

!! 注意 !!

「テープ送り」または「送りカット」をおこなうと、テープやインクリボンの「たるみ」が取れます。テープカートリッジをセットしたあとは、必ず「テープ送り」または「送りカット」をおこなってください。

MEMO

「送り長指定」を使うと、指定した長さ分だけテープ送りすることができます。

参照☞ P.60「指定した長さでテープ送りをする」

使い終わったら（電源を切る）

準備

電源を切る

① を押す

電源が入っている状態で  を押すと、電源が切れます。電源を切っても、入力したテキストやファイルなどのデータは保存されています。再度電源を入れると、入力したテキストが表示されます。

② ACアダプタ（AC0615J）をはずす

ACアダプタをコンセントから抜き、本機からプラグを抜いてください。コードは巻いておいてください。

!! 注意 !!

- ・長期間使わないときは、電池、ACアダプタ、テープカートリッジを本機から取りはずしてください。
- ・本機、電池、ACアダプタ、テープカートリッジは、直射日光、高温多湿、磁気や振動、ホコリなどを避けて冷暗所に保管してください。電池を取りはずしても、入力した文章やファイルなどのデータは保存されています。長期間電池を入れたままにしておくと、電池から液漏れことがあります。電池に記載してある使用推奨期限を目安にお取り換えください。
- ・電源は必ず  を押して切ってください。入力されているデータが正しく保持されない可能性があります。

入力

文字を入力する

入力方式の設定

本機では、「ローマ字入力」と「かなめくり入力」の2つの入力方式で、文字を入力することができます。

入力方式はかなめくり入力インジケーターで確認できます。

か
な

- ① **シフト** を押しながら **（ファイル）** (=環境設定) を押す
「環境設定」メニューが表示されます。

環境設定
入力方式

- ② **△ ▽** で「入力方式」を選び **（選択/改行）** を押す

- ③ **△ ▽** で、「ローマ字」または「かなめくり」を選ぶ

- ④ **（選択/改行）** を押す

入
力

MEMO

- 初期設定値は「ローマ字」に設定されています。
- 入力方式の設定は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。
設定した入力方式を変更した場合は、この操作によって設定しなおすか、本機の初期化をおこなってください。
参照☞P.75「本機を初期化する」
- ローマ字入力に設定されている場合は、かなめくり入力インジケーターは消灯しています。

文字入力の仕方

■ ローマ字入力

文字ボタンの**(A)** **(B)** **(C)** でローマ字読み・アルファベットを入力します。

参照☞P.99「ローマ字変換表」

(あ/Aa) で入力モードを「ひらがな→カタカナ→ABC(大文字)→abc(小文字)」に切り換えることができます。

■ かなめくり入力

文字ボタンの**(あ)** **(か)** **(さ)** でかなを入力します。

(あ/Aa) で入力モードを「ひらがな→カタカナ」に切り換えることができます。「ABC(大文字)」「abc(小文字)」を設定した場合は、かなめくり入力に設定されていても、アルファベットが入力されます。1つの文字ボタンには、複数の文字が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の文字を表示させます。

例：

押す回数 文字ボタン	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
(や)	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ	や

※ 目的の文字を通り過ぎたときは、**シフト**を押しながら文字ボタンを押して前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

MEMO

各文字ボタンに割り当てられている文字の一覧は、入力文字一覧表を参照してください。
参照☞P.85「入力文字一覧表」

入
力

ひらがな・カタカナを入力する（ローマ字入力）

例：「せっと」、「セット」を入力する

① ディスプレイのインジケーターでローマ字入力に設定されていることを確認する

ローマ字入力に設定されている場合は、かなめぐり入力インジケーターは消灯しています。

かな

② **あ・ア・A・a**を数回押して入力モードを選ぶ

ひらがな入力の場合

あいう

カタカナ入力の場合

アイウ

③ 「せっと」、「セット」を入力する

入力文字：**S**、**E**、**T**、**T**、**O**
ネガ表示で入力されます。

①せっと

①セット

④ **選択**を押す

「せっと」、「セット」が確定します。
行頭マークは**①**から**1**に変わります。

1せっと

1セット

MEMO

- 文字を間違えたときは、**削除**で文字を消し、正しい文字を入力しなおしてください。
- ローマ字入力でひらがな・カタカナを入力した場合は、入力した直後に**あ・ア・A・a**を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ→ABC(大文字)→abc(小文字)」の順に変換します。
変換後は、**選択**を押して確定します。
- 変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字が自動的に確定するため、確定する**選択**を省略できます。
- 「読み」を入力した直後に**選択**を押すと、ひらがなのまま確定します。
- ネガ文字は16文字まで入力できます。

ひらがな・カタカナを入力する（かなめくり入力）

例：「せっと」、「セット」を入力する

- ① ディスプレイのインジケーターでかなめくり入力に設定されていることを確認する

II
かな

- ② を数回押して入力モードを選ぶ

ひらがな入力の場合

あいう

カタカナ入力の場合

アイウ

- ③ 「せっと」、「セット」を入力する

 × 4回 → セ

 × 6回 → っ

 × 1回（または  × 1回）→ カーソル移動

 × 5回 → と

入力中の文字は点滅し、次の文字を入力するとネガ表示になります。
「せっと」が入力されます（最後の文字は点滅します）。

①せ▲と◀

①セ▲ト◀

- ④ を押す

「せっと」「セット」が仮確定します。

点滅していた文字がネガ表示になります。

①せっと

①セット

- ⑤ を押す

「せっと」「セット」が確定します。

行頭マークは①から②に変わります。

①せっと

①セット

MEMO

- 文字を間違えたときは、で文字を消し、正しい文字を入力しなおしてください。
- 「っ」「と」のように、同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するときは  または  を押して前の文字をネガ表示にしてください。
- かなめくり入力の場合は、入力した直後に  を押すと、押すたびに「ひらがな→カタカナ」の順に変換します。「ABC(大文字)」「abc(小文字)」への変換はできません。
- 変換したあと、続けて次の文字を入力すれば、前の文字が自動的に確定するため、確定する  を省略できます。
- ネガ文字は16文字まで入力できます。
- 濁音や拗音の入力は、入力方式によって異なります。
参照☞P.33「濁音や拗音の入力について」

入力

漢字を入力する

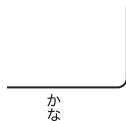
漢字は、「読み」をひらがなで入力してから変換します。

例：「堺」を入力する

入
力

- ① ディスプレイのインジケーターで入力方式を確認する

ローマ字入力の場合



かなめくり入力の場合



- ② [あ・ア・A・a] を数回押してひらがな入力モードを選ぶ

あいう

- ③ 「さかい」を入力する

「さかい」がネガ表示になります（かなめくり入力の場合は、最後の文字が点滅します）。

ローマ字入力

S A 、 K A 、 I
さ か い

①さかい

かなめくり入力

さ × 1回 、 か × 1回 、 い × 2回

①さかい

- ④ [変換スペース] を押す

「さかい」という読みの漢字候補が点滅表示されます。

[変換スペース] を押すたびに、候補が次々と表示されます。

候補は、熟語から先に表示されます。

さかい
坂井

- ⑤ [◀] [▶] または [変換スペース] を数回押して「堺」を点滅表示させる

さかい
界堺

- ⑥ [選択実行] を押す

「堺」が確定します。

①堺

参考

漢字の読みを短くする（読み短縮）

目的の漢字が変換した漢字候補の中に見つからないときは、漢字変換中に **シフト + 変換スペース**（読み短縮）を押すと、漢字変換の対象とする読みを短くすることができます。

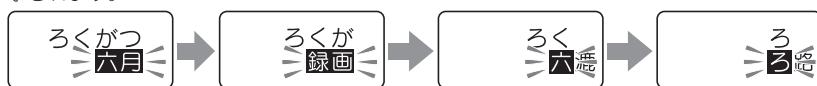
例：「ろくがつ」の読みを短くする。

① 「ろくがつ」を入力して **変換スペース を押す**

1番目の候補が点滅します。

② シフトを押しながら **変換スペース を押す**

押すたびに読みが短くなり、順に「ろくが」→「ろく」→「ろ」という読みの候補が点滅表示されます。



MEMO

- 一度に入力できる「読み」は16文字までです。ただし表示は末尾5文字だけです。
また、長い「読み」を入力するとうまく変換できないことがあります。
- 漢字候補が表示されているときに **◀** または **▶** を押すと前の候補が表示されます。また、
シフト を押しながら **▶** または **▼** を押すと最後の候補が、**シフト** を押しながら **◀** または **▲** を
押すと最初の候補が表示されます。
- 一度選択した語句は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- 変換をやめるときは **削除取消** を押してください。

英数字を入力する

英数字を入力するときは、入力モードを「ABC（大文字）入力」または「abc（小文字）入力」にして、直接入力します。

例：「BOX」、「box」を入力する

① **あアAa を押して入力モードを選ぶ**

ABC（大文字）入力の場合

A B C

abc（小文字）入力の場合

a b c

② 「BOX」を入力する

(B)、**(O)**、**(X)**

1 B O X

1 b o x

MEMO

- **〔Shift〕**を押しながら入力すると、「ABC(大文字)入力」モードのときは小文字を、「abc(小文字)入力」モードのときは大文字を入力できます。
- かなめぐり入力に設定していても、「ABC(大文字)入力」モードと「abc(小文字)入力」モードのときは、アルファベットが入力されます。

文字ボタンの記号を入力する

ボタンに表記された記号は、ボタンによって入力方法が異なります。

■ 数字ボタンの上に表記された記号

〔Shift〕を押しながら入力します。

例：「！」を入力する

① **〔Shift〕**を押しながら②を押す

「！」が入力されます。

① ! |

MEMO

数字ボタンの上に表記された記号は、どの入力モードでも入力できます。

■ 複数の記号が表記された〔Shift〕ボタン

記号めぐり方式で入力します。

〔Shift〕ボタンには、それぞれに複数の記号が割り当てられています。文字ボタンを繰り返し押して、目的の記号を表示させます。

文字ボタン	押す回数	1回	2回	3回	4回	5回
〔Shift〕	ひらがな入力 カタカナ入力	「	」	：	‘	「
	ABC(大文字)入力 abc(小文字)入力	[]	:	,	[.....
〔Shift〕	ひらがな入力 カタカナ入力	、	。	、	。	、
	ABC(大文字)入力 abc(小文字)入力	,	,	,	,	,

- 目的の文字を通り過ぎたときは **〔Shift〕**を押しながら **〔Shift〕**ボタンを押すことで前の文字に戻すことができます（リバース機能）。
- 「：」と「」など、同じボタンに割り当てられた文字を連続して入力する場合は、1文字目を入力したあとに、**〔Shift〕**または**〔選択実行〕**を押してカーソルを移動します。

MEMO**「かなめくり入力」時の[□]ボタンについて**

直前の文字が、濁音・半濁音の両方がつく文字の場合（は行）には、濁音・半濁音が入力できます。

直前の文字が、濁音のみがつく文字の場合（か行、さ行、た行）には、濁音のみ入力できます。

その他の場合には、上記の表の順番で記号が切り替わります。

参考**濁音や拗音の入力について**

濁音や拗音の入力は、入力方式によって異なります。

	濁音（「ざ」「ば」など） 半濁音（「ぱ」など）	拗音（「ゅ」「あ」など） 促音（「っ」）
ローマ字入力	濁音・半濁音用のスペルで入力します。 参照☞P.99「ローマ字変換表」	次のいずれかの方法で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> 「き ゃ」（K, Y^は, A）などのように前の文字と組み合わせたスペルで入力する。 参照☞P.99「ローマ字変換表」 促音「っ」は、直後の文字の子音を2つ重ねる。 例： S, A, K, K, A …「さつか」 （L）を押してから通常の文字ボタンを押す。 例： L, T^な, U^ま …「っ」 L, A …「あ」
かなめくり入力	清音のあとに、 [□] ボタンで「」や「」を入力します。	該当する文字ボタンを数回押します。 た × 6回…「っ」 や × 4回…「ゅ」

スペースを入力する

スペースを入力すると、テキスト画面上に「 」(半角スペース)が表示され、印刷すると約半文字分の空白になります。

① ネガ文字がないことを確認する

② [変換スペース]を押す

半角スペースが入力されます。

1 B O X |

入力

MEMO

- 「ローマ字入力」「かなめくり入力」「ABC(大文字)入力」「abc(小文字)入力」のいずれでも半角スペースが入力できます。
- ひらがな入力モードでネガ文字があるときに[変換スペース]を押すと、漢字に変換されます。

参考

全角スペース

スペースには半角スペース()の他に、全角スペース()があります。全角スペースは、印刷すると約1文字分の空白となります。全角スペースを入力するには、[絵記号]を押して表示される記号メニューから「編集」を選び、その中の「 」を選択します。

参照☞P.42「絵・記号を入力する」

テキスト画面	印刷結果
1 田中 <u> </u> 慶介	田中 慶介
2 田中 <u> </u> 慶介	田中 慶介

文章を作る

文章を入力し、文字を挿入、削除したり、全文を消去するなどの編集方法を説明します。

カーソルボタンの使いかた

画面に表示される縦線「|」をカーソルと呼びます。カーソルは文字を挿入、削除する位置を表します。



カーソル

カーソルの移動にはカーソルボタン を使います。

本機のディスプレイには最大6文字×2行で表示されます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した行や文字は隠れて見えなくなりますが、カーソルを移動すれば確認できます。

カーソルボタン	カーソルの移動方向
	左方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	右方向に1文字移動します。押し続けると高速で移動します。
	前（上）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
	次（下）の行へ移動します。押し続けると高速で移動します。
+	行頭へ移動します。繰り返すと、さらに前の行の行頭へと移動します。
+	行末へ移動します。繰り返すと、さらに次の行の行末へと移動します。
+	段落の先頭へ移動します。繰り返すと、前の段落の先頭へと移動します。
+	段落の終わりへ移動します。繰り返すと、次の段落の終わりへと移動します。

+ となっている表記は、 を押しながらそのボタンを押す操作です。

文章を入力する

文字は操作パネルの文字ボタンで入力し、を押して漢字などに変換します。

参照☞P.27「文字を入力する」

1 定期点検

文字を削除する

文字の後ろ（右側）にカーソルを合わせて [削除/取消] を押すと、文字が削除されます。



入
力

文字を挿入する

文字を挿入したいところにカーソルを合わせて入力します。



!!注意!!

挿入によって文字数が入力可能文字数（約90文字）をオーバーしたときは、文末にフルメモリーマーク（◀）が表示され、文末の文字からオーバーした分だけ自動的に削除されます。

すべての文章を消去する

入力した文章をすべて消去するときは「全文消去」をおこないます。

[シフト] を押しながら [削除/取消] (=全消去) を押し、「実行？」と表示されたら [選択/改行] を押します。

全文を消去

実行？

!!注意!!

全文消去では、入力中の文章と書体などの指定内容が消去されます。消去をおこなう前に、十分に確認してください。

MEMO

- 全文消去では、ファイル、漢字などの学習内容、文字の入力方式は消去されません。すべてを購入時の設定に戻したいときは、初期化してください。
参照☞ P.75「本機を初期化する」
- 操作を途中でやめるときは [削除/取消] を押し、操作を戻します。

行を増やす（改行）

2行以上の文章を入力するときは「改行」をおこないます（**選択改行**を押します）。

■ テープ幅と印刷できる行数

本機では4mmから18mmまでの幅のテープを使うことができます。

セットされたテープカートリッジ幅によって、印刷できる文章の行数に制限があります。

テープ幅	4mm	6mm	9mm	12mm	18mm
印刷可能な行数	1行まで	2行まで	3行まで	4行まで	6行まで

MEMO

- 表示されている文章が何行目にあるかは行頭マークで確認できます。行頭マークには空白行頭マーク① ②…☒、① ②…☒と、実質行頭マーク① ②…☒、① ②…☒の2種類があります。空白行頭マークは文字が何も入力されていないことを表し、その行は印刷されません。
- ☒☒はこれ以上行数を増やせないことを表示しています。☒☒の表示があるときに**印刷**を押しても「行数オーバー」が表示されます。☒☒のある行を削除してから印刷をおこなってください。
参照☞P.79「エラーメッセージが表示されたときは」

新しい行を作る

行の終わりで**選択改行**を押すと、新しい行に入力することができます（改行）。

例：3行の文章を入力する



1 「営業1課」を入力し、**選択改行**を押す

2行目に行頭マークが表示されます。



2 「営業2課」を入力し、**選択改行**を押す

3行目に行頭マークが表示されます。



続けて3行目を入力します。

MEMO

ネガ文字や仮確定文字があるときは、**選択改行**を押しても改行できず、文字が確定します。
参照☞P.19「ディスプレイの見かたとはたらき」

行の途中で改行する / 改行を取り消す

行の途中で [選択 改行] を押すと、カーソルより後ろ（右側）の文字は次の行に移ります。

例：「営業 1 課 田中慶介」を 2 行にする

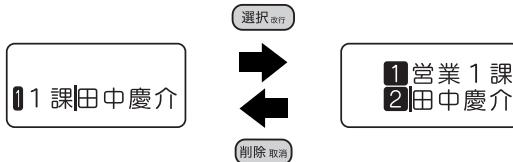
営業 1 課 田中慶介

↓ 途中で改行すると

営業 1 課
田中慶介

入
力

行頭マークにカーソルを合わせて [削除 取消] を押すと、その行の文章は前の行に移動し、連結されます。



段落を増やす（改段落）

下のラベルは2つのブロックからできています。本機ではこのブロックを「段落」と呼びます。段落とはブロックで印刷される「行の集まり（または1行）」のことです。

本機では、段落は1つのラベル（文章）の中に2段落まで作ることができます。

段落を活用すると、いろいろな行を混在させたり、絵文字だけを大きくするデザイン性の高いラベルを作成することができます。

■ 段落が2つのラベル

印刷すると各段落は横につながって印刷されますが、画面上では各段落が縦に並んだ形式で表示されます。

【ラベルは】

	内線	営業1課	131
		営業2課	132
	営業部	営業3課	133

段落1

段落2

【画面上では】

段落1	1 内線
	2 営業部
段落2	1 営業1課 131
	2 営業2課 132
	3 営業3課 133

新しい段落を作る

シフトを押しながら〔選択改行〕（＝改段落）を押すと、新しい段落ができます。

① 段落1を入力する

1行目「 内線」

2行目「営業部」と入力します。

参照☞P.42「絵・記号を入力する」

1
2 営業部

② 文末にカーソルを合わせ、シフトを押しながら〔選択改行〕（＝改段落）を押す

新しい段落が発生し、①が表示されます。

2 営業部
1

③ 段落2を入力する

1行目「営業1課 131」

2行目「営業2課 132」

3行目「営業3課 133」と入力します。

2課 132
3課 133

MEMO

- ネガ文字や仮確定文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。

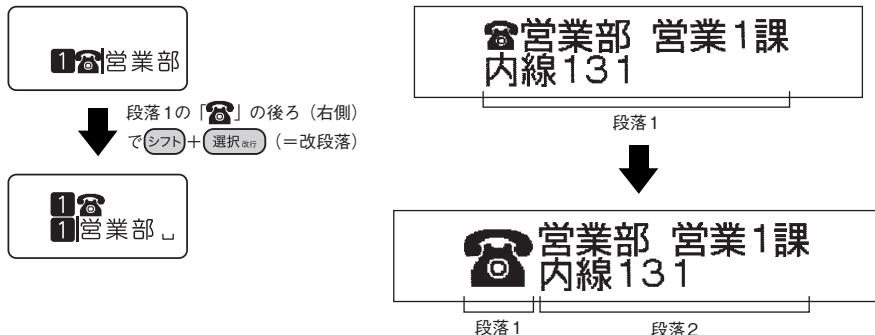
参照☞P.19「ディスプレイの見かたとはたらき」

- すでに2段落目があるときは、改段落できません。

段落を分割する

段落の途中で改段落すると、カーソル位置より後ろ（右側）の文字は新しい段落に移ります。

例：新しい段落を増やす



入
力

MEMO

- ネガ文字や仮確定文字があるときは、改段落できず、文字が確定します。
参照☞P.19「ディスプレイの見かたとはたらき」
- すでに2段落目があるときは、改段落できません。
- 段落分割によって新しくできた段落指定値の内容は、もとの段落と同じです。
- 文字サイズが行数で指定されている場合は、段落分割によって各段落の行数が変わり、指定した行数と一致しなくなります。このとき、文字サイズの指定は解除され、初期設定値になります。
参照☞P.48「文字サイズを指定する」
- 2段落目の行頭マーク [] にカーソルを合わせて[削除取消]を押すと、その行の文章は1段落目の最後の行に移動し、連結されます。このとき2段落目の残りの文章は、1行つまつた状態で2段落目に残ります。2段落目が1行のみの場合は、1段落目に連結することで2段落目がなくなります。

絵・記号を使う

文字ボタンで入力できる文字や記号以外に、絵・記号メニューで色々な絵文字や記号が入力できます。

絵・記号メニュー一覧

(絵・記号) を押すと、記号を入力できます (太字は購入時の初期設定値です)。

選択できる記号は、P.94「絵・記号一覧表」を参照してください。

メニュー	選択肢	選択肢	選択肢
絵文字 絵文字 絵文字を入力します。 参照 P.42	動物 虫・魚 花・草木 乗り物 食べ物 雑貨 趣味 予定 シーズン 暮らし 顔 学校 仕事 星座 干支 表示	▶ 絵文字選択	
イラスト イラスト イラストを入力します。 参照 P.43	よこ よこ たて	▶ イラスト選択	
マーク マーク マークを作成します。 参照 P.44	デザイン	▶ 書体	▶ 入力文字

入
力

記号	記述	▶ 記号選択
記号を入力します。 参照☞ P.42	省略	▶
	カッコ	▶
	矢印	▶
	○△□	▶
	単位	▶
	数字	▶
	ギリシャ	▶
	歐州	▶
	編集	▶
2桁数字		▶ 数値入力
2桁数字 2桁の数字を1文字として入力します。 参照☞ P.45		

絵・記号を入力する

操作パネルに表記されていない絵文字や記号は、絵・記号メニューから指定します。

例：末尾に絵文字の「⌚」を挿入する



- ① [絵・記号] を押す
「絵・記号」メニューが表示されます。

- ② ▲ ▼ で「絵文字」を選ぶ

絵・記号
絵文字

- ③ [選択(改行)] を押す
「絵文字」メニューが表示されます。

- ④ ▲ ▼ で「趣味」を選び、[選択(改行)] を押す

絵文字
趣味

「趣味」の絵文字が表示されます。

- ⑤ ◀ ▶ で「⌚」を選ぶ



- ⑥ [選択(改行)] を押す

⌚セット！
⌚BOX⌚

「⌚」が入力されます。

手順②で「記号」を選ぶと、同様の操作で記号を入力できます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・入力できる絵文字や記号は、付録を参考にしてください。
参照☞P.94「絵・記号一覧表」
- ・操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]** または**[絵・記号]** を押し、操作を戻します。
- ・一度選択した絵文字や記号は、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- ・記号メニューの「編集」内の記号はそれぞれ以下のはたらきをします。
 - 黒**（黒入力記号）：縦黒線を入力します。
 - （全角スペース）：全角スペースを入力します。

イラストを入力する

イラストを選択すると、通常の絵文字3文字分の大きな絵文字を入力することができます。

例：末尾にイラストの「」を挿入する



① **[絵・記号]** を押す
「絵・記号」メニューが表示されます。

② **[△] [□]** で「イラスト」を選ぶ



③ **[選択実行]** を押す
「イラスト」メニューが表示されます。

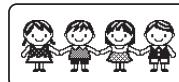
④ **[△] [□]** で「よこ」を選び、**[選択実行]** を押す



「よこ」のイラストが表示されます。

⑤ **[◀] [▶]** で「」を選ぶ

⑥ **[選択実行]** を押す



「」が入力されます。

MEMO

- ・ネガ文字があるときは操作できません。
- ・入力できるイラストは、付録を参考にしてください。
参照☞P.94「絵・記号一覧表」
- ・操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]** または**[絵・記号]** を押し、操作を戻します。
- ・一度選択したイラストは、次回から優先して表示されます（学習機能）。
- ・絵・記号メニューの「イラスト」は、通常の記号3文字分の大きなサイズのものです。
参照☞P.43「イラストを入力する」
- ・イラストを削除するときは、**[削除 取消]** を3回押してください。
[削除 取消] を押すごとに、1文字分ずつ削除されます。

マークを作成する

デザインと文字を組み合わせたオリジナルのマークを作成できます。



入力できる文字は1文字のみです（数字は2桁まで入力できます）。
絵文字や記号を入力することはできません。

- ① [絵・記号] を押す
「絵・記号」メニューが表示されます。

- ② ▲ ▼ で「マーク」を選び、[選択(実行)] を押す



- ③ ◎ ▶ で目的のマークのデザインを選び、[選択(実行)] を押す



- ④ ▲ ▼ で書体の種類を選び、[選択(実行)] を押す



書体は「ゴシック」と「てがき」から選べます。
「明朝体」は指定できません。

- ⑤ ▲ ▼ で入力文字の種類を選び、[選択(実行)] を押す



あいう・アイウ・ABC・abc・123の中から、
入力したい文字の種類を選んでください。
漢字は入力できません。

- ⑥ 文字を入力する



入力できる文字は1文字のみです（数字は2
桁入力できます）。手順⑤で選んだ文字種
類以外での入力はできません。

- ⑦ [選択(実行)] を押す



作成したマークが入力されます。
テキスト上は、入力した文字に「□」が重
なった形で表示されます。

MEMO

- ネガ文字があるときはマークを作成できま
せん。
- 入力できるマークのデザインは付録を参考
にしてください。
参照☞P.94「絵・記号一覧表」
- 処理を途中でやめるときは[削除(取消)] または
[戻る] を押してください。
- 1つの文章に入力できるマークは、10個ま
でです。
- 文字サイズ、行数、装飾によっては、マー
クがツブレることがあります。L字、G字、U
字で印刷することをおすすめします。
参照☞P.48「文字サイズを指定する」
- P字で印刷する場合は、書体はすべて「ゴ
シック」です。
- どのデザインを選択
した場合も、テキス
ト画面では、入力し
た文字に表示用イメージ (□) が重なっ
た形で表示されます。入力したマークを確
認したい場合は、プレビューで確認してく
ださい。
参照☞P.58「印刷イメージを確認する
(プレビュー)」

2桁の数字を入力する

「2桁数字」は2桁の数字を1文字として扱うものです。たて書きのラベルで日付や住所の番地などに「2桁数字」を使うと、きれいに揃えて印刷できます。

例：「14回大会記録」を入力する

14回大会記録

- ①** を押して、「たて書き」を指定する

参照☞P.47「ラベルの向きを変える（縦・横）」

- ②** を押す

「絵・記号」メニューが表示されます。

- ③**  で「2桁数字」を選び、を押す

2桁数字の数値入力画面が表示されます。

絵・記号
2桁数字

- ④** 「14」を入力し、を押す

2桁数字
【14】



114

カーソル位置に「14」が表示されます。

- ⑤** 続けて文章を入力する

MEMO

- 操作を途中でやめるときはまたはを押し、操作を戻します。
- 2桁の数字は、を押して「2桁数字」を選んで入力します。文字ボタンでの入力では2桁数字にはなりません。
- ネガ文字があるときは、で2桁数字は入力できません。
- 手順**④**で数字を1桁のみ入力すると、自動的に2桁目に「0」が付きます。例えば、「1」を入力すると「01」になります。

読みのわからない漢字を入力する(コード入力)

「読み」のわからない漢字を、コードで入力できます。

入力できるコードの種類は区点コード・JISコード・シフトJISコードです。

MEMO

本書には区点コード表を掲載しております。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.88「漢字変換表」

入
力

例：「お休み處」と入力する

① ネガ文字がないことを確認する

1 お休み

② 入力したい漢字「處」のコードを調べる

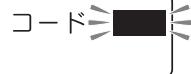
コードの種類は区点コード、JISコード、シフトJISコードのいずれでもかまいません。

處…4961(区点コード)

参照☞P.88「漢字変換表」

③ シフトを押しながら あーA-a (=コード入力) を押す

コード入力画面になります。



④ コードを入力する

④、⑨、⑥、⑦を押します。

最後の数字を押すと、コードに対応した漢字の候補が表示されます。



⑤ 「處」を選び、選択 行 を押す

カーソル位置に「處」が入力されます。

1 お休み處

MEMO

・ネガ文字があるときは、コード入力できず、文字が確定します。

・コードの入力を間違えたときは削除取消を押して入力しなおしてください。

編集

ラベルの向きを変える（縦・横）

〔縦・横〕を使うと、ラベルの向きを「たて書き」または「よこ書き」に切り換えられます。

よこ書きラベル（購入時の初期設定値）

千代田区東神田＊-＊
石原 大輔

たて書きラベル

千代田区東神田＊-＊
石原 大輔



① 〔縦・横〕を押す

「たて書き」と表示された場合は、たて書きになります。

「よこ書き」と表示された場合は、よこ書きになります。

テキスト画面では、文字の向きは変わりませんが、たて書き・よこ書きの指定はインジケーターで確認できます。

参照☞P.19「ディスプレイの見かたとはたらき」

△たて書き

たて
書き

△よこ書き

たて
書き

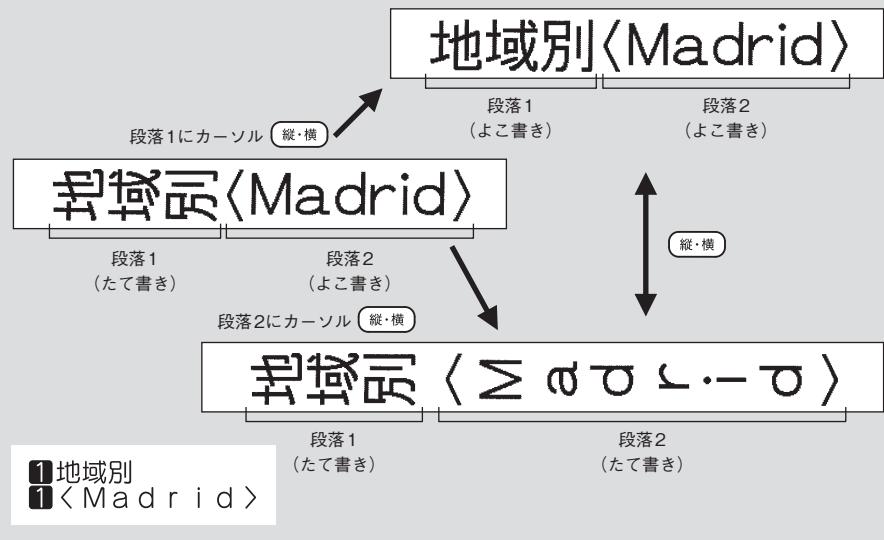
MEMO

- ネガ文字や点滅文字があるときは、「たて書き」「よこ書き」を変更できません。
- 編集機能の「縦・横」では文章単位または段落単位で指定できます。
参照☞P.50「指定範囲とカーソルの位置について」
- よこ書きに指定されている場合は、たて書きインジケーターは消灯しています。

編
集

!!注意!!

〔縦・横〕ボタンは文章全体のラベルの向きを変えます。「たて書き」と「よこ書き」の段落が混在している文章の場合は、カーソルのある段落に対する変更が、文章全体に反映されます。



文字サイズを指定する

(文字サイズ) を使うと、文字サイズを一段階ずつ切り換えられます。各行の文字サイズを選択肢の組み合わせから選択できます。

① 目的の文字サイズになるまで(文字サイズ)を押す

(文字サイズ)を押すたびに選択肢が切り換わります。
カーソルがある行の文字サイズは、ディスプレイのインジケーターで確認できます。



MEMO

- ネガ文字があるとき、文字が入力されていないときは、「文字サイズ」を変更できません。
- (文字サイズ)は、カーソルのある段落に対する指定です。
- 「文字サイズ」は編集機能の「文字サイズ」でも指定できます。
- 参照☞P.57「●文字サイズを指定する」
- 選択肢を切り換えたあとは、プレビューでイメージを確認することをおすすめします。

選択できる文字サイズは、ラベルの行数によって次のようにになります。表示されるピクトグラフ（行の大小）で各行の文字のバランスなど、レイアウトを確認できます。

太字は購入時の初期設定値です。

ラベルの行数	選択肢		
1行	特大 1a. 大 1b. 中 1c.	特大 1a. 大 1b. 中 1c.	特大 1a. 大 1b. 中 1c.
2行	大大 2a. 小大 2d.	大大 2a. 中中 2e.	大大 2a. 小中 2f.
3行	均等大 3a. 2大 3d. 2小 3g.	均等大 3a. 3大 3e. 3小 3h.	均等大 3a. 3大 3e. 3小 3h.
4行	均等大 4a. 2大 4d.	均等大 4a. 3大 4e.	均等大 4a. 4大 4f.
5-6行	サイズ固定		

書体を変える

ラベルの書体は3種類あります。[書体]を押すことで切り換えることができます。

① 目的の書体になるまで[書体]を押す

[書体]を押すたびに、書体の指定を切り換えられます。



■ 書体例：

ゴシック

cuteな文字

明朝体

cuteな文字

てがき

cuteな文字

編集

MEMO

- ネガ文字があるときは書体を変更できません。
- [書体]は文章全体の書体を変えます。段落ごとや文字ごとに指定することはできません。
編集機能の「書体」では文章単位、行単位または段落単位で指定できます。
参照☞P.50「指定範囲とカーソルの位置について」
- [書体]ではマークの書体は変更できません。
参照☞P.44「マークを作成する」
- 英数字は文字間を狭くすると見栄えが良くなります。
参照☞P.54「●文字間を指定する」
- 書体、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

編集

の機能を使いこなす

文字間や飾り字を指定して、見栄えの良いラベルを作成することができます。

ラベルの見た目を変えるには、**編集**を押して表示されるメニューから機能を選択します。機能によって指定可能な範囲（行単位、文章全体など）が異なります。

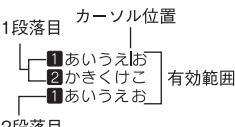
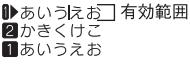
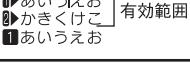
編集 の機能

機能	内容	指定範囲
外枠・表組	飾り枠、表組みを指定します。	文章全体、段落単位
余白	ラベル前後の余白の長さを指定します。	文章全体
文字間	文字の間隔を変更します。	文章全体、行単位、段落単位
定長印刷	印刷するラベルの長さを数値で指定します。	文章全体
割付け	各行の割り付け位置を指定できます。	文章全体、段落単位
飾り字	白抜き、影文字、白抜影、強調、斜体の装飾をします。	文章全体、行単位、段落単位
書体	文字の書体を指定します。	文章全体、行単位、段落単位
文字サイズ	行ごとの文字サイズを指定します。	文章全体、段落単位
縦・横	たて書きや、よこ書きにします。	文章全体、段落単位

指定範囲とカーソルの位置について

機能を選択する場合、**編集**を押す前に、指定範囲に合わせてカーソルの位置を移動しておく必要があります。カーソル位置は、指定する機能や範囲によって異なります。

次の表を参考に、カーソルの位置と有効範囲について確認してください。

指定範囲の選択肢	カーソルの位置と有効範囲	説明
文章全体	カーソル位置  1段落目 2段落目	カーソルの位置に関係なく文章全体を指定 テキスト画面上は何も変わりません。
この行	 ①あいうえお 有効範囲 ②かきくけこ ③あいうえお	カーソルのある行のみ指定 指定した行頭に「▶ (文字モード指定マーク)」が表示されます。
この段落	 ①あいうえお 有効範囲 ②かきくけこ ③あいうえお	カーソルのある段落のみ指定 指定した段落の各行頭に「▶ (文字モード指定マーク)」が表示されます。

MEMO

- 「▶ (文字モード指定マーク)」は印刷されません。
- 「▶」は削除できます。「▶」を削除すると、「文章全体」で指定した内容、または初期設定値を反映します。
- 「文章全体」を指定した場合、「▶」は表示されません。

編集メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	選択肢	選択肢
<p>外枠・表組</p> <p>外枠 飾り枠がつけられます。 参照☞P.53</p> <p>表組 表組みのラベルを作ります。 参照☞P.53</p> <p>余白</p> <p>余白 ラベルの前後の余白を調整します。 参照☞P.54</p> <p>文字間</p> <p>文字間 文字間隔を調整します。 参照☞P.54</p> <p>定長印刷</p> <p>定長印刷 印刷するラベルの長さを数値で指定します。 参照☞P.55</p> <p>割付け</p> <p>割付け 各行の文字の配置を指定します。 参照☞P.55</p> <p>飾り字</p> <p>飾り字 文字の装飾を指定します。 参照☞P.56</p>	<p>なし 01~72 外枠 73~76 表組み 参照☞P.98 「外枠・表組み一覧表」</p> <p>ふつう 極少</p> <p>ふつう 密着</p> <p>しない 1.0 cm : 99 cm</p> <p>前揃え 中揃え 均等割 後揃え</p> <p>A ふつう A 白抜き A 影文字 A 白抜影 A 強調 A 斜体</p>	

メニュー

選択肢

選択肢

書体	ゴシック
書体 文字の書体を指定します。 参照☞P.56	明朝体 てがき
文字サイズ	均等
文字サイズ 各行の文字サイズを、ピクトグラフで表示される組み合わせのように指定します。 参照☞P.57	1行 特大 1a 大 1b 中 1c 小 1d
	2行 大大 2a 中中 2b 大小 2c 小大 2d 中小 2e 小中 2f
	3行 均等大 3a 均等中 3b 1大 3c 2大 3d 3大 3e 1小 3f 2小 3g 3小 3h
	4行 均等大 4a 均等中 4b 1大 4c 2大 4d 3大 4e 4大 4f
	5-6行
縦・横	よこ書き
縦・横 文字の向きを指定します。 参照☞P.47	たて書き

編集

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、指定の途中で **[削除 取消]** または **[編集]** を押し、操作を戻します。
- 指定内容は、各機能の選択肢を表示させて確認できます。ネガ表示になっている選択肢が現在の指定内容です。
- 書体、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレことがあります。
- 機能を指定した場合には、プレビューでイメージを確認することをおすすめします。

各機能のご購入時の状態（初期設定値）はP.51「編集メニュー一覧」で確認できます。

●外枠や表組みを指定する

文章（段落）のまわりに外枠や表組みをつけます。

なし（購入時の初期設定値）

外枠や表組みをつけません。

外枠（01～72）

文章（段落）のまわりに外枠をつけます。



表組み（73～76）

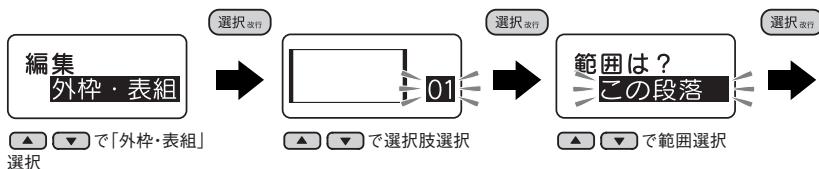
文章（段落）が枠で囲まれ、行間に横罫線が引かれ、段落間に縦罫線が引かれます。

参照△ P.39「段落を増やす（改段落）」

備品名	RDS
管理番号	1103-U

「外枠・表組」を指定する流れ

指定する段落にカーソルを合わせて〔編集〕を押す。



MEMO

- 外枠や表組みの種類は、番号を数字ボタンで指定することもできます。
- 書体、文字サイズ、行数、装飾によっては、外枠や表組みと文字が重なることがあります。

●余白を指定する

ラベルの前後の余白の長さを指定します。

極少（余白：前後約1mm）

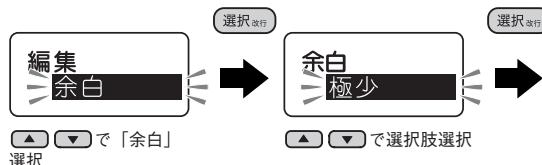


ふつう（余白：前後約10mm、購入時の初期設定）



「余白」を指定する流れ

〔編集〕を押す（カーソルはどこでもかまいません）。



MEMO

余白「極少」を指定すると、ラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットしてください。

参照☞P.61「印刷する」

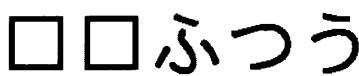


●文字間を指定する

文字の間隔を指定します。

密着

ふつう（購入時の初期設定値）



「文字間」を指定する流れ

指定する行または段落にカーソルを合わせて〔編集〕を押す。



MEMO

- 小さい文字に「密着」を指定しても、効果がないことがあります。
- 大きい文字では文字間を狭く、小さい文字では文字間を広くとると、美しいラベルになります。

●定長印刷を指定する

印刷するラベルの長さを数値（1.0cm～99cm）で指定します。

長さを指定したあと、ラベル全体に対する文字の印刷位置を選びます。表示されるピクトグラフで位置のイメージを確認できます。

「定長印刷」を指定する流れ

[編集] を押す（カーソルはどこでもかまいません）。



MEMO

- 定長印刷の長さは数字ボタンでも指定できます。
- 定長印刷で表示される長さは、1.0～2.0cmまでは0.1cmごと、2.0～4.0cmまでは0.2cmごと、4.0～10.0cmまでは0.5cmごと、10～99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 指定するラベルの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 文字数が多く、指定した長さに文章がおさまらないときは、「定長→字余り」と表示されます。文字数を減らしたり、文字サイズの指定で文字の大きさを小さくしてください。

●割付けを指定する

複数行のとき、各行の「揃え」を指定します。

前揃え（購入時の初期設定値）	行頭を揃えます。
中揃え	各行の中心を揃えます。
均等割	一番長い行の長さに揃えて他の行を均等に割り付けます。
後揃え	行末を揃えます。

「割付け」を指定する流れ

指定する段落にカーソルを合わせて **[編集]** を押す。



MEMO

- 文字間「密着」が指定されている場合、割付け「均等割」を指定しても、文字間「密着」が優先されます。
- 段落ごとに指定する場合は、先にカーソルを指定したい段落に移動させてください。
- 「この段落」を指定しても、「▶」は表示されません。

●飾り字を指定する

文字の装飾を指定します。

ふつう（購入時の初期設定値）	白抜き	影文字	白抜影	強調	斜体
A	A	A	A	A	A

「飾り字」を指定する流れ

指定する行や段落にカーソルを合わせて [編集] を押す。



MEMO

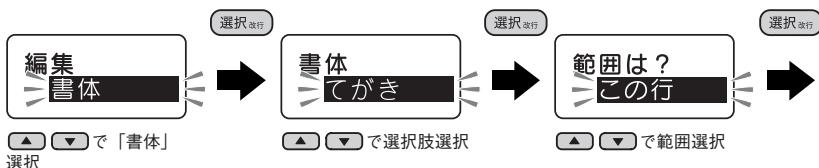
- 書体、文字サイズ、行数、装飾または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。
- マークには飾り字は反映されません。
参照☞ P.44「マークを作成する」
- 段落や行ごとに指定する場合は、先にカーソルを指定したい段落や行に移動させてください。

●書体を指定する

文字の書体を指定します。

「書体」を指定する流れ

指定する行や段落にカーソルを合わせて [編集] を押す。



ゴシック（購入時の初期設定値）

美しい

Beautiful

明朝体

美しい

Beautiful

てがき

美しい

Beautiful

●文字サイズを指定する

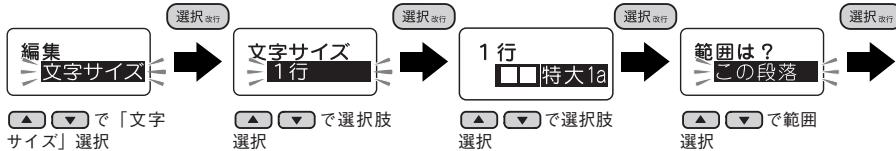
文字サイズの指定は「均等」または各行の文字サイズを選択肢の組み合わせから選択します。

文字サイズの変更は文字サイズボタンでも指定できます。

参照☞P.48「文字サイズを指定する」

「文字サイズ」を指定する流れ

指定する段落にカーソルを合わせて編集を押す。



1行の文字サイズ

特大 1a · 大 1 b · 中 1 c · 小 1 d と選んだ場合、テープ幅により次のような文字の大きさで印刷されます。

印刷 サンプル (実寸)	美	美	美	美	美	美
文字サイズ [pt] テープ幅	U [38]	G [26]	L [19]	M [13]	S [10]	P [6]
18mm	特大	大	中	小	—	—
12mm	—	特大	大	中	小	—
9mm	—	—	特大	大	中	小
6mm	—	—	—	特大	大	中、小
4mm	—	—	—	—	—	特大、大、中、小

※ 「U」「G」「L」「M」「S」「P」は文字サイズを表す「テプラ」PRO共通の呼称です。1ptは約0.35mmです。

!! 注意 !!

テープに印刷できる文字の大きさに制限があるため、テープ幅や印刷する行数によっては、印刷できない文字サイズもあります。

MEMO

- 各行の文字サイズはテープ幅によって異なり、文字サイズインジケーターで確認できます。
- 書体、文字サイズ、行数、装飾、または画数の多い文字によっては、文字がツブレることがあります。

●縦・横を指定する

文字をたて書きにするか、よこ書きにするかを指定します。

たて書き/よこ書きの変更は縦・横ボタンでも指定できます。

参照☞P.47「ラベルの向きを変える（縦・横）」

よこ書き（ご購入時の初期設定値）

たて書き



印刷

印刷を始める前に

印刷イメージを確認する（プレビュー）

印刷前に、印刷するイメージを表示して、できあがりを確認できます。印刷の失敗を防いで、テープを無駄なく使えます。

① テープカートリッジをセットしているか確認する

実際に印刷するテープカートリッジを正しくセットしてください。テープ幅が異なっていると、印刷イメージを正しく表示できません。

② を押す

印刷イメージが流れるように表示されます。

プレビューが終わるとテキスト画面に戻ります。



MEMO

- ・プレビュー中に 、、    のいずれかのボタンを押すと、押している間だけ表示が止まり、内容をゆっくり確認できます。ボタンを離すとふたたび動き出します。
- ・プレビューを途中でやめるときは  または  を押してください。
- ・定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り 強行」と表示されます。このまま  を押すと、定長を解除してプレビューを強行します。

印
刷

!! 注意 !!

- ・プレビューが表示されるのは、テキスト画面のときだけです。
- ・テープカートリッジをセットしていない、または正しい位置にセットしていないと、「テープ無し！」や「テープ幅を確認して！」と表示され、プレビューは表示されません。
- ・行数が多く、セットしたテープに印刷できないときは「行数オーバー！」が表示され、プレビューは表示されません。
参照  P.79「エラーメッセージが表示されたときは」
- ・プレビューは印刷の目安です。実際の印刷結果と完全には一致しないことがあります。

テープ送り

テープカートリッジをセットした直後は、テープの「たるみ」を取りため、必ず「テープ送り」をしてください。[シフト]を押しながら[印刷]（＝テープ送り）を押すと、「テープ送り」メニューが表示されます。

テープ送りメニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	選択肢
送りカット	▶ (送りカット実行)
テープ送り	▶ (送り実行)
送り長指定	▶ 送り長さ 2.0 cm 2.2 cm : 99 cm
	▶ (送り実行)

テープ送りをする

- ① [シフト]を押しながら[印刷]（＝テープ送り）を押す
「テープ送り」メニューが表示されます。

テープ送り
送りカット

- ② ▶で「送りカット」または「テープ送り」を選び、[選択実行]を押す
「送りカット」の場合は、テープが約18mm空送りされたあと、自動的にカットします。
「テープ送り」の場合は、テープが約18mm空送りします。

MEMO

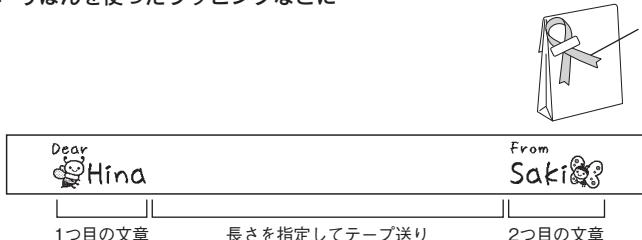
指定の長さでテープを送りたいときは、「送り長指定」で送ってください。
参照☞P.60「指定した長さでテープ送りをする」

印
刷

指定した長さでテープ送りをする

長さを指定してテープを空送りします。ラベルの前や後ろに余白が必要なときや複数文章の印刷で途中に空白を入れたいときに利用してください。

例：りぼんを使ったラッピングなどに



!! 注意 !!

文章の後ろに「送り長指定」で余白を入れる場合は、「自動カット」を「しない」に設定してください。
参照☞ P.62「カット設定を変更する」

① 1つ目の文章を入力して、**[印刷]** を押す

② **[シフト]** を押しながら **[印刷]** (=テープ送り) を押す

③ **[▲] [▼]** で「送り長指定」を選び、**[選択実行]** を押す



④ **[▲] [▼]** で送る長さを指定する

2.0~99cmの範囲で指定できます。
長さは数字ボタンでも指定できます。



⑤ **[選択実行]** を押す

指定した長さでテープを空送りします。

⑥ 2つ目の文章を入力して、**[印刷]** を押す

MEMO

- 「送り長さ」は一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]** を押します。
- 「送り長さ」で表示される長さは、2.0~4.0cmまでは0.2cmごと、4.0~10.0cmまでは0.5cmごと、10~99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 「自動カット」の設定にかかわらず、「送り長指定」では⑤のテープ送り後に自動カットはおこなわれません。
- 指定した長さのラベルを印刷するときは、「定長印刷」が便利です。
参照☞ P.55「●定長印刷を指定する」
- 指定した長さのラベルに同じ文章を繰り返し印刷するときは、「りぼん連続」が便利です。
参照☞ P.64「りぼん連続印刷をする」

印刷する

印刷する前に、テープカートリッジを正しくセットしているか、上カバーがしっかりと閉じているか、ACアダプタ（AC0615J）を正しく接続しているかを確認してください。

① [印刷]を押す

「準備中」と表示されたあと、ラベル長さと印刷枚数が表示され、印刷が始まります。

印刷が終わるとテープは自動的にカットされます。

長さ X.Xcm
X枚

MEMO

- 印刷を途中でやめるときは[削除取消]を押してください。
- 印刷中に[ON/OFF]を押すと印刷を中止し、テープをカットしたあとに電源が切れます。
- 同じラベルの印刷を繰り返すと印刷枚数表示が増加します。印刷枚数の表示は「100枚」の次は「1枚」と表示されます。印刷内容（文字や書式など）を変えたり電源を切ると、自動的に「1枚」に戻ります。
- 余白「極少」を指定するとラベル前余白にカットマークを入れて印刷します。市販のハサミでカットマークをカットすると、余白が「極少」のラベルができあがります。
参照☞P.54「●余白を指定する」
- 特殊印刷（りぼん連続、鏡文字印刷）をおこなう場合は、[シフト]+[お名前タグ]（=特殊印刷）で印刷します。
参照☞P.64「特殊な印刷」
- 印刷中はモーター音がしますが、異常ではありません。
- 定長で指定した長さに文章がおさまらない場合は「定長→字余り 強行」と表示されます。このまま[選択強行]を押すと、定長を解除して印刷を強行します。
- 裏紙がケバ立ってカットされることがあります、ラベルには影響ありません。
- ネガ文字、点滅文字は印刷されません。
- 行数が多く、セットされたテープに印刷できないときは「行数オーバー」と表示され、印刷できません。行数を減らすか、より広い幅のテープをセットしてください。
参照☞P.79「エラーメッセージが表示されたときは」

!!注意!!

- 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんは「自動カット」を「しない」で印刷し、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
参照☞P.62「カット設定を変更する」
参照☞P.78「テープカートリッジを使いわける」
- ラベルの内容が複雑な場合、印刷までの処理時間が長いことがあります。
- テープ出口には指を入れないでください。
- 印刷が終わるまで絶対にテープを引っ張らないでください。
- 印刷中に上カバーを開けると、正常に印刷できません。印刷中には上カバーを開けないでください。
- テープ出口付近に印刷したラベルがたまらないように注意してください。
- 印刷時に表示されるラベルの長さは目安です。誤差が生じることがあります。
- 16mを超える印刷はできません。

印
刷

カット設定を変更する

本機は、印刷時にラベルを自動的にカットしますが「自動カット」を「しない」にも設定できます。

!!注意!!

本機のカッターでカットできない耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼんを使う場合は、「自動カット」を「しない」にして印刷してください。

参照☞P.78「テープカートリッジを使いわける」

① シフトを押しながら^{左矢印}（＝自動カット）を押す

「自動カット」メニューが表示されます。

② ▲▼で「しない」を選び^{選択実行}を押す

自動カットが無効に設定されます。

自動カット
しない

③ 印刷を押す

印刷が始まります。

印刷が終わるとテープはカットされず、そのまま止まります。カートリッジを取り出してハサミなどでカットしてください。

一度、自動カットを「しない」に設定すると、以降はカットされずに印刷されます。全文消去を実行しても自動カットの設定は「しない」のままです。自動カットを有効にしたい場合は、再度上記手順により自動カットを「する」に設定してください。

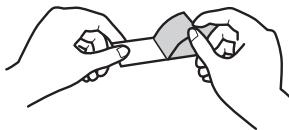
MEMO

- 「自動カット」を「しない」で印刷したラベルは、テープカートリッジを本機から取り出して、カートリッジ側にテープを3mm（りぼんの場合は10mm）程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットしてください。
- 「自動カット」が「しない」に設定されているときでも、「テープ送り」メニューの「送りカット」ではテープをカットすることができます。カット可能なテープに入れ替えた場合など、そのラベルのみ自動でカットしたいときは「送りカット」をおこなってください。
参照☞P.25「5. テープ送りをする」
- カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。
参照☞巻末「アフターサービスについて」
- 操作を途中でやめるときは、^{削除取消}または^{左矢印}を押し、操作を戻します。

ラベルを貼る

印刷したラベルの裏紙をはがして貼ります。

① 裏紙をはがす



② しっかりとこすって貼り付ける



!!注意!!

- ・ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものがあります。
- ・ラベルにシンナーなどの溶剤をかけたり、とがったもので激しくこすると、ラベルが破れたり、はがれたり、文字がカスレたりすることがあります。
- ・白インクラベルの文字の部分を金属でこすると文字が黒になりますが、消しゴムなどで軽くこするともどに戻ります。
- ・凹凸のあるところに貼ると、はがれやすくなります。
- ・ぬれていたり、油やホコリで汚れているところには、貼れなかったりはがれやすくなります。
- ・ペンなどで書き込まれた上にラベルを貼ると、ペンのインクがラベルに浸透し、表示がそこなわることがあります。
- ・雨、日光が直接あたる場所など、使用環境によってはラベルの劣化を早めるおそれがあります。
- ・人体、生き物、公共の場所や他人の持ち物などにはラベルを貼らないでください。

・「テプラ」で得られるラベルについて

塩化ビニールのように可塑剤入り材料など被着体の材質、環境条件、貼り付け時の状況などによっては、ラベルの色が変わる、はがれる、文字が消える、被着体からはがれない、ノリが残る、ラベルの色が下地にうつる、下地がいたむなどの不具合が生じことがあります。使用目的や接着面の材質を十分確認してからご使用ください。なお、これらによって生じた損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

MEMO

「テプラ」PROテープには、接着ラベル以外にも、用途に合わせてさまざまなラベルが用意されています。

参照☞P.78「テープカートリッジを使いわかる」

同梱のテープカタログや当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

特殊な印刷

〔シフト〕を押しながら〔名前タグ〕（＝特殊印刷）を押すと、りぼん連続、鏡文字印刷といった特殊な印刷を指定できます。

また、〔お名前タグ〕または〔ピッピコード〕を押すと、それぞれ専用のフォーマットで印刷ができます。

参照 P.66「お名前タグ印刷をする」

参照 P.67「ピッピコード印刷をする」

!! 注意 !!

りぼん連続印刷、鏡文字印刷、お名前タグ印刷、ピッピコード印刷は、画面の指示に従い、

〔選択実行〕を押すと印刷が実行されます。

特殊印刷メニュー一覧

太字は購入時の初期設定値です。

メニュー	最初の選択肢	次の選択肢	次の選択肢
りぼん連続 りぼん連続 指定したラベルの長さに同じ文章を繰り返し印刷します。 参照 P.64	りぼんの長さ 5.0 cm 5.5 cm : 99 cm	文章の間隔 1.0 cm 1.1 cm : 99 cm	印刷実行
鏡文字印刷 鏡文字印刷 鏡像反転して印刷します。 参照 P.65	印刷実行		

りぼん連続印刷をする

指定したラベルの長さに、同じ文章を繰り返し印刷します。

for you for you for you for you

- ① 繰り返したい文章を入力し、〔シフト〕を押しながら〔名前タグ〕（＝特殊印刷）を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

- ② ▲ ▼ で「りぼん連続」を選び、〔選択実行〕を押す

特殊印刷
りぼん連続

③ ▲▼で「りぼんの長さ」を指定する

5.0~99cmの範囲で指定できます。
長さは数字ボタンでも指定できます。

りぼんの長さ
13 cm

④ [選択実行] を押す

⑤ ▲▼で「文章の間隔」を指定する

1.0~99cmの範囲で指定できます。
長さは数字ボタンでも指定できます。

文章の間隔
1.0 cm

⑥ [選択実行] を押す

「準備中」が表示されたあと、印刷の確認画面が表示されます。

⑦ 文章の繰り返し回数を確認し、[選択実行] を押す

ラベルが印刷されます。

文章繰り返し
4回 印刷?

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、[削除取消] または [お名前] を押し、操作を戻します。
- 指定するりぼんの長さは一応の目安です。実際のできあがり長さと完全には一致しません。
- 文章の繰り返し回数はりぼんの長さと文章の長さ、文章の間隔などから自動的に決まります。
- 「りぼんの長さ」で表示される長さは、5.0~10.0cmまでは0.5cmごと、10~99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 「文章の間隔」で表示される長さは、1.0~2.0cmまでは0.1cmごと、2.0~4.0cmまでは0.2cmごと、4.0~10.0cmまでは0.5cmごと、10~99cmまでは1.0cmごとに変化します。
- 「りぼん連続」は、りぼん以外のテープでも印刷できます。
- 「自動カット」の設定にかかわらず、「りぼん連続」では自動カットはおこなわれません。

鏡文字印刷をする

入力した文字を鏡像反転させて印刷します。

●鏡文字印刷

する（鏡像）

しない（正像、購入時の初期設定）

ニ ハ テ

テ プ ラ

① 文章を入力し、[シフト] を押しながら [お名前タグ] (=特殊印刷) を押す
「特殊印刷」メニューが表示されます。

② ▲▼で「鏡文字印刷」を選び、[選択実行] を押す
鏡文字ラベルが印刷されます。

特殊印刷
鏡文字印刷

MEMO

操作を途中でやめるときは、**削除取消** または **お名前タグ** を押し、操作を戻します。

お名前タグ印刷をする

入力した文字や記号を、お名前タグ専用のフォームで印刷します。お名前タグ印刷を使うと、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、オリジナルのお名前タグを作成することができます。



!!注意!!

- ・お名前タグ印刷は、「テプラ」PROテープカートリッジ りぼん専用の印刷機能です。
- ・「お名前タグ」の作成には、別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」が必要です。

① テプラ本体に「テプラ」PROテープカートリッジ りぼんをセットする

② テキスト入力画面に名前や絵文字を入力する

参照 P.27「文字を入力する」

参照 P.41「絵・記号を使う」

③ **お名前タグ** を押す

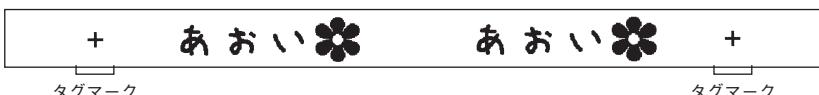
④ 「実行？」と表示されたら、**(選択)実行** を押す

ラベルが印刷されます。

印刷結果には、りぼんの前と後ろにタグマーク「+」が印刷され、中央にテキストが2回繰り返されて印刷されます。「お名前タグ」に適した余白が自動でつきます。

タグマーク「+」はスナップボタンを取り付ける位置の目安となります。

タグ印刷
実行?



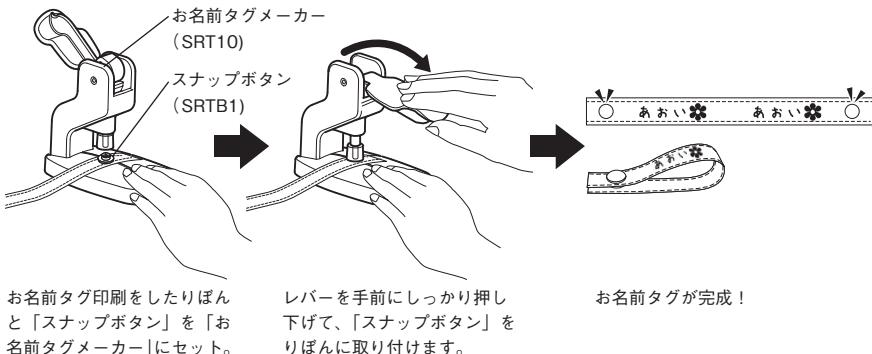
⑤ テープカートリッジを取り出し、カートリッジ側にテープを10mm程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする

以降の手順は、別売の「お名前タグメーカー」(SRT10)の取扱説明書をご覧ください。

■ 別売品「お名前タグメーカー（SRT10）」と「スナップボタン（SRTB1）」について

別売の「お名前タグメーカー」と「スナップボタン」を使って、お名前タグを作成します。

参照☞P.11「別売品のご案内」



MEMO

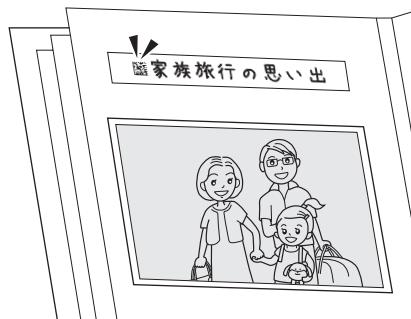
- 4mm幅、6mm幅テープにはお名前タグ印刷はできません。
- 「自動カット」の設定にかかわらず、「お名前タグ印刷」では自動カットはおこなわれません。
- 操作を途中でやめるときは、**削除取消** または**お名前タグ** を押し、操作を戻します。
- 入力できる段落は2段落までです。
- 編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。
- スナップボタンの取り付け方法など詳細につきましては、「お名前タグメーカー」（SRT10）の取扱説明書をご覧ください。

印
刷

ピッタード印刷をする

家族旅行の思い出

入力した文字や記号と一緒に、二次元コード「ピッタード」を印刷します。「ピッタード」を専用のiOSアプリで読み取ると、端末内でひも付けた写真や動画、メモなどを呼び出すことができます。



① テキスト入力画面に文字や記号を入力する

② **ピッとコード**を押す

③ 「ピッとコード」の挿入位置を決める

△ ▽で、文字の前に入れるか、後ろに入れるかを選択します。

挿入位置

縦アイウ

前

④ **選択実行**を押す

ラベルが印刷されます。

印刷するたびに異なる「ピッとコード」が印刷されます。

※それぞれの「ピッとコード」に、異なる写真や動画、テキストなどをひも付けることができます。

以降の手順は、専用のiOSアプリ「ピッとコード」の取扱説明書をご覧ください。

■ 専用iOSアプリについて

「ピッとコード」の読み取りやデータ呼び出しには、専用のiOSアプリ（無料）が必要となります。

詳しくは当社ホームページ（<https://www.kingjim.co.jp/>）をご覧ください。

専用iOSアプリ「ピッとコード」



<http://kingjim.jp/pitcode/>

※対応しているiOS端末については弊社HPをご覧ください。

印
刷

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、**削除**または**ピッとコード**を押し、操作を戻します。
- 4mm幅、6mm幅テープには印刷できません。
- 印刷される「ピッとコード」のサイズは、文字サイズやセットしているテープ幅にかかわらず同じです。
- 入力テキストがない場合は、「ピッとコード」の挿入位置は前後どちらを選んでもテープ中央に配置されます。
- ピッとコード印刷は毎回異なるコードを印刷します。印刷を途中でやめた場合も、次に印刷される「ピッとコード」は異なるコードとなります。
- 一部のテープでは「ピッとコード」をうまく読み取れない場合があります。
- 編集メニューの設定は、入力テキスト部分にのみ反映されます。ただし、定長、余白の設定はラベル全体に反映されます。

保存

文章を呼び出す・登録する（ファイル）

作成した文章をファイルとして登録しておけば、必要に応じて呼び出し、変更や印刷ができます。ファイルには、文字とレイアウトなどラベルの状態がそのまま登録されます。

ファイルを登録する

① [ファイル]を押す

② ▲▼で「登録」を選び、[選択実行]を押す

ファイル
登録

③ ▲▼で番号を選び、[選択実行]を押す

ファイル番号は数字ボタンでも選択できます。

登録

ファイル

2

④ 内容を確認し、[選択実行]を押す

◀ ▶ ▷ ▸ で文章を確認できます。

登録確認 2
1いのうえ

「登録実行」と表示され、テキスト画面に戻ります。

登録実行 2

!! 注意 !!

- 「登録実行」表示中はACアダプタや電池を抜かないでください。ファイルが壊れる場合があります。
- ファイル登録の際、既存のファイルを上書きして登録することはできません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。
- ファイルは5件まで登録できます。
- 登録されているファイル番号へ上書き登録はできません。
- データがいっぱいです登録できない場合は「ファイル満員」と表示されます。不要なファイルを削除してください。

参照☞P.79「こんな表示が出たときは」

保
存

ファイルを呼び出す

① [ファイル]を押す

② ▲▼で「呼出」を選び、[選択実行]を押す

③ ▲▼で番号を選び、[選択実行]を押す

ファイル番号は数字ボタンでも選択できます。

呼出し? 2
1いのうえ

④ 内容を確認し、[選択実行]を押す

◀▶で文章を確認できます。

「呼出実行」と表示され、文章が呼び出されます。

呼出確認 2
1いのうえ

!! 注意 !!

ファイルを呼び出すと、テキスト画面で作成していた文章は失われます。必要な文章はあらかじめファイルに登録してください。

ファイルを消去する

① [ファイル]を押す

② ▲▼で「消去」を選び、[選択実行]を押す

③ ▲▼で番号を選び、[選択実行]を押す

ファイル番号は数字ボタンでも選択できます。

消去? 2
1いのうえ

④ 内容を確認し、[選択実行]を押す

◀▶で文章を確認できます。

「消去?」が点滅します。

消去確認 2
1いのうえ

⑤ [選択実行]を押す

「消去実行」と表示され、ファイルが消去されます。

!! 注意 !!

消去したファイルを戻すことはできません。

MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、[削除取消]または[ファイル]を押し、操作を戻します。

その他

環境設定を変更する

入力方式や印刷濃度の設定を変更することができます。

環境設定メニュー覧

(シフト)を押しながら(ファイル)(=環境設定)を押すと、入力方式、印刷濃度、機能の保存値、電池の種類を変更できます(太字は購入時の初期設定値です)。

メニュー	選択肢	
入力方式	ローマ字 かなめくり	
印刷濃度	-3 : ふつう : +3	
保存値	外枠・表組 余白 文字間 定長印刷 割付け 飾り字 書体 文字サイズ 縦・横 終わり? 復元?	詳細な項目を設定できます。設定方法は、通常の編集メニューと同じです。
電池種類	アルカリ ニッケル水素	

入力方式を変更する

本機では、「ローマ字入力」と「かなめくり入力」の2つの入力方式で、文字を入力することができます。

参照☞P.27「入力方式の設定」

II
かな

印刷濃度を調整する

印刷濃度は「-3～ふつう～+3」の7段階で設定できます。印刷が薄いときや濃いときに調整してください。通常は「ふつう」でご使用ください。

- ① **[シフト] を押しながら [ファイル] (=環境設定) を押す**
「環境設定」メニューが表示されます。

- ② **△ ▽ で「印刷濃度」を選び、[選択 行] を押す**



- ③ **△ ▽ で濃度を調整し、[選択 行] を押す**
印刷濃度が設定されます。



MEMO

- ネガ文字があるときは操作できません。
- 操作を途中でやめるときは、**[削除 取消]**または**[ファイル]**を押し、操作を戻します。
- 本機は温度センサーを内蔵しており、印刷ヘッドの温度に合わせて印刷濃度が一定になるように自動調整されます。
- 印刷濃度を「ふつう」以外に設定すると、電池の消耗が激しくなったり、印字がツブレたりカスレたりすることがあります。また、まれにラベルの文字がはがれやすくなることがありますのでご注意ください。
- 耐熱ラベルを使う場合や、上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・クラフトラベル（白文字）で印字がカスレた場合は「+3」に設定してください。
参照☞P.78「テープカートリッジを使いわける」
- 印刷濃度は全文消去や電源OFFでは初期値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
参照☞P.75「本機を初期化する」

各種の初期値（保存値）を設定する

「書体」や「余白」などの保存値を変更することができます。

本機では〔編集〕ボタンを使って、次のような機能を指定することができます。

ボタンの機能

ボタン	指定できる機能
〔編集〕	外枠・表組、余白、文字間、定長印刷、割付け、飾り字、書体、文字サイズ、縦・横

各機能を選ぶと、選択肢が表示されます。表示されたときに選ばれている選択肢が保存値です。よく使う「書体」や「余白」などが、ご購入時の保存値（「初期設定値」と呼びます）とは異なる場合、保存値を変更しておくと、文章を作るたびに〔編集〕ボタンで変更する必要がなくなります。
ラベルには保存値の内容が自動的に反映されるので、例えば、「縦・横」の保存値を「たて書き」に指定しておくと、通常（全文消去直後）は「たて書き」のラベルになります。

なお、変更した保存値は、保存値の復元によって、いつでも初期設定値に戻すことができます。

MEMO

- 各機能の初期設定値についてはP.51「編集メニュー一覧」を参照してください。
- 〔編集〕ボタンでの指定内容は、全文消去をおこなうと保存値に戻ります。
- ファイルに登録された内容は、ファイル登録時の指定が反映されます。

!! 注意 !!

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.36「すべての文章を消去する」

●保存値を変更する

① シフトを押しながら〔削除 取消〕（＝全消去）を押し、全文消去をおこなう

保存値の設定を変更するときには、全文消去をする必要があります。

参照☞P.36「すべての文章を消去する」

② シフトを押しながら〔ファイル〕（＝環境設定）を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

③ ▲ ▼で「保存値」を選び、〔選択実行〕を押す



④ ▲ ▼で変更したい項目を選び、〔選択実行〕を押す



その他

⑤ ▲ ▼ で保存値に設定したい選択肢を選び、(選択実行) を押す

各項目の設定方法は、通常の編集機能と同じです。

参照 P.50 「編集」 の機能を使いこなす

書体
ゴシック

⑥ 変更したいすべての項目の設定が終わったら、「終わり?」 を選び、

(選択実行) を押す

保存値が変更され、テキスト画面に戻ります。

保存値
終わり?

MEMO

- 操作を途中でやめるときは、(削除取消) または(ファイル) を押し、操作を戻します。
- 手順④の「保存値」メニューで「復元?」を選択すると、変更した保存値の設定を、ご購入時の保存値（初期設定値）に戻します。

電池種類を変更する

本機では単3形アルカリ乾電池の他に、単3形充電式ニッケル水素電池もご使用いただけます。

単3形充電式ニッケル水素電池をご使用になる際には電池種類を「ニッケル水素」に変更してください。

① シフトを押しながら(ファイル) (=環境設定) を押す

「環境設定」メニューが表示されます。

環境設定
電池種類

③ ▲ ▼ で「アルカリ」または「ニッケル水素」を選び、(選択実行) を押す

(選択実行) を押す

電池種類が設定されます。

電池種類
ニッケル水素

MEMO

- 初期設定値は「アルカリ」に設定されています。
 - ネガ文字があるときは操作できません。
 - 操作を途中でやめるときは、(削除取消) または(ファイル) を押し、操作を戻します。
 - 電池種類は、全文消去や電源OFFでは初期設定値に戻りません。この操作によって設定しなおすか、本機を初期化してください。
- 参照 P.75 「本機を初期化する」

!! 注意 !!

電池種類で設定した電池を使用していないときには、電池の寿命が短くなったり、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないことなどがあります。

参照 P.21 「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

本機を初期化する

!!注意!!

- ・本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の要因で不具合を起こすことがあります。
- ・不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなった場合は、「本機の初期化」をおこなってください。
- ・初期化をすれば正常に使えるようになりますが、万一、初期化をおこなっても正常に動作しない場合には、お買い上げ販売店に修理を依頼してください。
なお、初期化や、修理、検査をおこなうと、ファイルのデータなど、すべての登録内容や学習内容が失われ、復元はできません。あらかじめご了承ください。

初期化とは

初期化の操作により、本機の設定がすべてご購入時の状態に戻ります。

初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

内容	機能	初期化	保存値復元 (P.73)	全文消去 (P.36)
入力	テキスト画面の文章	●	- *1	●
	入力モード	●	-	-
データ	ファイルデータ	●	-	-
	学習データ	●	-	-
設定	自動カットの設定値	●	-	-
	入力方式の設定値	●	-	-
	印刷濃度の設定値	●	-	-
	各種の保存値	●	●	-
	電池種類の設定値	●	-	-

●：ご購入時の状態に戻ります。

-：保持されます。

*1 初期設定値に戻す「保存値復元」をおこなうときには、全文消去をする必要があります。

MEMO

「ピッとコード」で印刷されるコードは、初期化をおこなっても、初期設定値に戻すことはできません。

初期化する

① を押して電源を切る

!! 注意 !!

 を押しても電源が切れないときには、ACアダプタを抜いて、電池も抜きます。次にもう一度ACアダプタを接続、または電池をセットし、再度 を押して電源を入れます。

以降は手順①からの操作で初期化してください。

② と を押しながら を押す

「本体初期化？」が点滅します。

本体初期化？

!! 注意 !!

- 初期化をやめるときは以外のボタンを押してください。
- 本当に初期化しても大丈夫ですか？

今まで登録したファイルなどのデータや学習内容が消去されます。初期化をおこなう前に、十分に確認してください。

参照☞ P.75「初期化とは」

③ を押す

「初期化 実行」と表示され、本機の初期化がおこなわれたあと、タイトル画面、入力モードが表示されます。

デモ印刷をする

本機が正しく動くかどうか、デモ印刷をして確認することができます。

- ① シフトを押しながら削除取消(=全消去)を押し、全文消去をおこなう



!! 注意 !!

デモ印刷をおこなう前には、全文消去をする必要があります。

参照☞P.36「すべての文章を消去する」

- ② 「demo」と入力する



参照☞P.31「英数字を入力する」

- ③ シフトを押しながら変換スペースを押す
デモ印刷がおこなわれます。

!! 注意 !!

ご使用中に「故障かな?」と思ったときは、このデモ印刷をおこなってください。デモ印刷が見本どおりに印刷されないときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

MEMO

印刷を途中でやめるときは、削除取消を押します。

見本（85%に縮小しています）

6mm幅テープ

18mm幅テープ

選べる書体
LCD液晶画面
オートカッター搭載
名前タグ対応
4~18mm幅テープ対応

「テプラ」PRO | LCD液晶画面
6文字×2行
選べる3書体
便利なダイレクトプリント

「テプラ」PRO

テープカートリッジを使いわける

使用するテープ種類に合わせて、下記の通り対応してください。

テープ種類	設定方法
カッター使用禁止 耐熱ラベル・アイロンラベル・マグネットテープ・りぼん	①カッターの刃の磨耗を防ぐため、「自動カット」無効で印刷する。②本機からテープカートリッジを取り出す。③カートリッジ側にテープを3mm(りぼんの場合は10mm)程度残し、市販のハサミでまっすぐにカットする。 参照☞P.62「カット設定を変更する」
印刷濃度の調整が必要 耐熱ラベル 上質紙ラベル・アイロン転写テープ・グレー文字ラベル・クラフトラベル(白文字)	印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。
	印刷がカスレた場合、印刷濃度を「+3」に設定して印刷する。 参照☞P.72「印刷濃度を調整する」
鏡文字の設定が必要 アイロン転写テープ	「特殊印刷」で「鏡文字印刷」をする。 参照☞P.65「鏡文字印刷をする」

テープカートリッジの詳しい使用方法は、テープカートリッジのパッケージおよび同梱されている取扱説明書をご覧ください。

!!注意!!

テープを本機にセットしたら、必ず一度「テープ送り」をしてテープやインクリボンのたるみを取ってください。

参照☞P.25「5. テープ送りをする」

MEMO

- アイロンラベル・アイロン転写テープをご使用の際は、アイロンをご用意ください。
- 熱収縮チューブ（φ5mm）をご使用の際は、工業用ドライヤーをご用意ください。φ11mm熱収縮チューブは本機では使用できません。
- マスキングテープ「mt」ラベルは素材の性質上、一般的な「テプラ」テープに比べ、印刷がカスレやすくなっています。本体の印刷濃度を変えることによりカスレ具合の調整は可能ですが、細かな文字や白抜き文字の印刷などには不向きです。
- マスキングテープ「mt」ラベルはヘッド接触部のインクがテープに転写しないよう、印刷時以外は、カートリッジを本体から取りはずしてください。

こんな表示が出たときは

ディスプレイが消えたときは

操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。また、約5分間何も操作をしないと電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

エラーメッセージが表示されたときは

エラーメッセージ	原因・対処
電池を交換！	電池が消耗しました。電源を切り、すべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池(単3形)に交換してください。または、電池の $(+)$ $(-)$ の向きが間違っている場合があります。電池の $(+)$ $(-)$ の向きを確認してください。また、できるだけ専用のACアダプタを使用してください。 参照☞P.21「1. ACアダプタを接続する」 参照☞P.21「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」
テープ無し！	テープカートリッジがセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを正しくセットしてください。 参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」
テープ確認！	本機で使用できないテープ幅のテープカートリッジをセットしているか、正しい位置にセットされていません。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」
テープ幅を確認して！	本機で使用できないテープカートリッジをセットしているか、または正しい位置にセットされていない状態で 印刷 や 九八一 を押しています。電源を切ってテープカートリッジを確認してください。 参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」
テープ幅不足	お名前タグ印刷およびピッとコード印刷で、使用できないテープカートリッジがセットされています。9mm幅以上のテープカートリッジをセットしてください。 参照☞P.66「お名前タグ印刷をする」 参照☞P.67「ピッとコード印刷をする」
ヘッド過熱！	印刷を連続しておこなったために印刷ヘッドが過熱しています。電源を切り、テープカートリッジを抜いて、印刷ヘッドを冷やすためにしばらく放置してください。
行数オーバー	文章の行数が多すぎて、セットされているテープカートリッジでは印刷や印刷プレビューの表示ができません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、幅の広いテープカートリッジをセットするか、 \times の出ている行を削除するか、行数を減らしてください。なお、本機のディスプレイには最大6文字×2行まで表示できます。これ以上の文字を入力すると、はじめに入力した文字は隠れて見えなくなりますが、 \blacktriangleleft \blacktriangleright \blacktriangledown \blacktriangleright でカーソルを移動すれば確認できます。 参照☞P.37「■ テープ幅と印刷できる行数」

エラーメッセージ	原因・対処
定長→字余り	定長で指定した長さに文章がおさまりません。文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。 参照☞P.55「●定長印刷を指定する」
定長→字余り 強行?	定長で指定した長さに文章がおさまらない状態で [印刷] や [OK] を押しています。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。このまま [選択強行] を押すと、定長を解除して印刷またはプレビューを強行します。 参照☞P.55「●定長印刷を指定する」
入力文字が ありません	文字が入力されていない状態で文字サイズの指定をしようとしたしました。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字を入力してください。
ファイル満員	ファイルを登録するメモリーがいっぱいです、これ以上登録できません。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、不要なファイルを消去してください。 参照☞P.70「ファイルを消去する」
ファイル無し	ファイルが登録されていない状態で、ファイルの呼び出し、消去の操作をしようとしたしました。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.69「ファイルを登録する」
マークは 10個まで!	マークは10個までしか入力できません。いずれかのボタンを押すとテキスト画面に戻ります。 参照☞P.44「マークを作成する」
モーター 異常!	モーター動作に不具合がありました。電源を一旦切ってから再度電源を入れてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店に修理を依頼してください。 参照☞巻末「アフターサービスについて」
カッター 異常!	カッター動作に不具合がありました。電源を一旦切ってから再度電源を入れてください。同じメッセージが繰り返される場合には、お買い上げ販売店に修理を依頼してください。 参照☞巻末「アフターサービスについて」
印刷りぼん長 →字余り	「りぼん連続」で指定した「りぼんの長さ」に文章がおさまらない状態です。いずれかのボタンを押してテキスト画面に戻り、文字数を減らしたり、文字の大きさを小さくしてください。

MEMO

上記項目を確認しても解決しないときは、当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞巻末「アフターサービスについて」

故障かな？と思ったら

正常な動作をしない

本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で不具合を起こすことがあります。不具合によって、表示が乱れたり電源のON/OFFができないなど、正常に動作しなくなったりときは、「本機の初期化」をしてください。
参照☞P.75「本機を初期化する」

(ON/OFF)を押してもディスプレイに何も表示されない

● ACアダプタはしっかりと接続されていますか？

本機のACアダプタ差込み口とコンセントにしっかりと接続してください。

参照☞P.21「1. ACアダプタを接続する」

● 電池は正しくセットされていますか？

電池の向きが $(+)$ ○ $(-)$ 逆にセットされていると電源はONになりません。電池ケースの中に刻印されている向きに、すべての電池が正しくセットされているか確認してください。

参照☞P.21「2. 電池（別売）を入れて使用するときは」

● 専用のACアダプタ以外のACアダプタを使用していませんか？

専用のACアダプタ（AC0615J）以外のACアダプタをご使用になると、本機の回路を損傷したり、過熱するなど大変に危険です。

● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい電池と交換するか、専用のACアダプタ（AC0615J）を使用してください。

ディスプレイが消える

● オート・パワーオフ機能ではありませんか？

本機では、電源が入ったまま約5分間何も操作しないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します（オート・パワーオフ）。

● 操作を間違えませんでしたか？

本機では、ボタン操作を間違えると、ディスプレイが一瞬、消灯します。

印刷()を押しても何も印刷されない

● 文章が入力されていますか？

テキスト画面に何も入力されていないと印刷はされません。

● ディスプレイにメッセージが表示されていますか？

エラーメッセージが表示されていると印刷されません。

参照☞P.79「エラーメッセージが表示されたときは」

準備中と表示されているときは、しばらくお待ちください。

● 残りが十分にあるテープカートリッジを正しくセットしていますか？

テープカートリッジのテープがなくなっていて、上カバーを正しく閉じないと印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーをしっかりと閉じてください。

参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」

● 電池が消耗していませんか？

消耗した電池を使用していると、電源が入らないことがあります。「電池を交換！」が表示されたら、新しい電池と交換するか、専用のACアダプタ（AC0615J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れことがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞P.74「電池種類を変更する」

● 上カバーは閉じていますか？

上カバーが開いていると印刷できません。テープカートリッジを正しくセットし、上カバーを完全に閉じてください。

参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」

文字がきちんと印刷されない

● テープカートリッジは正しくセットされていますか？

テープカートリッジを正しくセットしていないと、きちんと印刷できません。

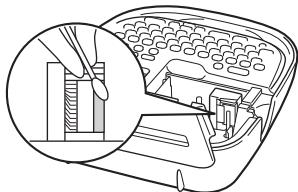
テープカートリッジを取り出し、もう一度手順に従ってセットしてください。

参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」

● 印刷ヘッドが汚れていませんか？

印刷ヘッドにゴミ、ホコリなどが付着すると文字の一部がカスレることができます。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR18C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。

参照☞P.83「お手入れについて」



カスレ

● 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、専用のACアダプタを使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることができます。

ラベルを印刷後、自動カットされない

● 自動カットを「しない」に設定していませんか？

印刷設定の自動カットを「しない」に設定すると、印刷後の自動カットはおこなわれません。

参照☞P.62「カット設定を変更する」

● カッターの刃が磨耗していませんか？

カッターは刃物ですので、長期間使い続けると磨耗し、切れにくくなります。カッターの刃の交換は有償で承ります。お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞卷末「アフターサービスについて」

● りぼん連続印刷、お名前タグ印刷、送り長指定を使用していませんか？

りぼん連続印刷、お名前タグ印刷、送り長指定を使用すると、ラベルは自動でカットされません。

文章の途中までしか印刷されない

● テープカートリッジにテープの残りがありますか？

テープカートリッジのテープが終了している場合は、新品のテープカートリッジをセットしてください。

参照☞P.23「3. テープカートリッジをセットする」

● 電池が消耗していませんか？

電池が消耗すると「電池を交換！」と表示されます。速やかにすべての電池を新しいアルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）と交換するか、専用のACアダプタ（AC0615J）を使用してください。電池を交換せずに使い続けると、操作中や印刷中に電源が切れることができます。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞P.74「電池種類を変更する」

ファイルの内容が消えてしまった

● 本機の初期化をしましたか？

本機の初期化をおこなうと、登録したファイルなどのデータがすべて失われます。

参照☞P.75「本機を初期化する」

● 電源が入った状態で電池を交換していませんか？

電池交換は、必ず電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で電池交換をおこなうと、登録したファイルなどのデータがすべて失われることがあります。また電池種類を正しく設定してください。

参照☞P.74「電池種類を変更する」

● 動作中にACアダプタや電池を抜きましたか？

ファイル登録時の「実行中」や印刷の「準備中」および「印刷中」と表示されているときにACアダプタや電池を抜くと登録したファイルなどのデータがすべて失われることがあります。

ラベルを貼り付けることができない

● 裏紙をはがしていますか？

粘着タイプのラベルは、裏紙をはがして貼ってください。ラベルの種類によっては、裏紙がはがれにくいものや、透明で見えにくいものがあります。

参照☞P.63「ラベルを貼る」

● 貼る場所が汚れていたり、凹凸がありますか？

表面がザラザラしている場所や、ホコリ、油のついている場所には貼り付けられません。また、特殊な加工がしてある面や、特殊な材質の面には貼り付けられない場合があります。

MEMO

上記以外のときや、上記項目を確認しても改善しないときは、お買い上げ販売店または当社お客様相談室までご相談ください。

参照☞卷末「アフターサービスについて」

お手入れについて

本機外側の汚れ・ホコリは

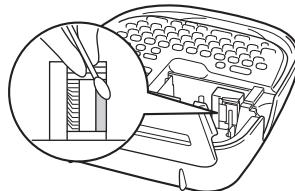
乾いたやわらかな布で拭き取ってください。とくに、汚れがひどい場合は、水を含ませ固く絞った布で拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学ぞうきんの使用は絶対におやめください。

印刷が欠けたりカスレたりする場合

印刷ヘッドにゴミがついていることがあります。別売のヘッド・クリーニングテープ（SR18C）をご使用になるか、綿棒に市販の薬用アルコール（エチルアルコール）を含ませて、印刷ヘッドを掃除してください。



カスレ



ヘッド・クリーニングテープ（別売）を使う

- ① ヘッド・クリーニングテープを本機にセットする
- ② シフトを押しながら 印刷 (=テープ送り) を押す
- ③ 「テープ送り」を選び、選択[実行]を押す

「テープ送り」の操作によりヘッド・クリーニングテープが送られ、印刷ヘッドがクリーニングされます。1~2回おこなってください。

参照☞P.25「5. テープ送りをする」

!!注意!!

- 使用後はもとの箱に入れて清潔な場所に保管してください。ホコリ、砂などの多い場所に放置すると、クリーニング性が低下するばかりか、印刷ヘッドをいためる原因になります。

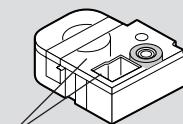


- ヘッド・クリーニングテープで印刷をおこなわないでください。印刷をおこなうとヘッドをいためる原因となります。



- 図の部分の白いテープがなくなるとテープがすべて巻き取られたことになり、そのヘッド・クリーニングテープは終了です。テープ終了後に使用するとヘッドをいためるおそれがありますので、ご使用にならないでください。

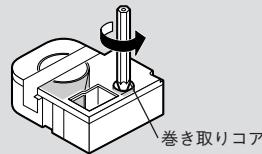
白いテープがなくなる



その他

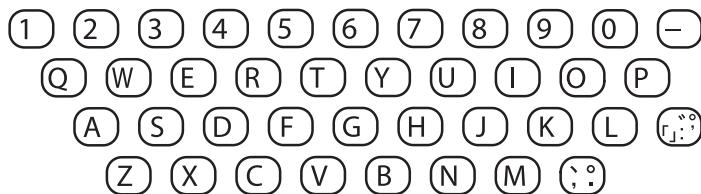
MEMO

- ・本機にはヘッド・クリーニングテープSR18Cをお使いください。
- ・テープは巻き取り式になっていますので、「テープカット」は不要です。
- ・テープがたるんでいる場合、「巻き取りコア」を矢印方向に回してたるみを取ってください。
- ・ヘッドクリーニングをおこなっても印刷が欠けたりカスレたりする場合、本機の故障が考えられます。お買い上げ販売店または当社お客様相談室にご相談ください。
- ・ヘッド・クリーニングテープは薄い材料で作られています。新品でも少なめに見えますが、約120回のクリーニングが可能です。



入力文字一覧表

文字ボタン配列



入力文字表

ボタン	ローマ字								かな	
	あ・ア		A		a		あ・ア			
	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト
1	1	!	1	!	1	!	1	!	1	!
2	2	@	2	@	2	@	2	@	2	@
3	3	?	3	?	3	?	3	?	3	?
4	4	¥	4	¥	4	¥	4	¥	4	¥
5	5	~	5	~	5	~	5	~	5	~
6	6	&	6	&	6	&	6	&	6	&
7	7	/	7	/	7	/	7	/	7	/
8	8	.	8	.	8	.	8	.	8	.
9	9	(9	(9	(9	(9	(
0	0)	0)	0)	0)	0)
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q	q	Q	q	q	q	Q	入力文字表 (かなめくり入力) ☞P.87			
W	w	W	w	w	w	W				
E	e	E	e	e	e	E				
R	r	R	r	r	r	R				
T	t	T	t	t	t	T				
Y	y	Y	y	y	y	Y				
U	u	U	u	u	u	U				
I	i	I	i	i	i	I				
O	o	O	o	o	o	O				
P	p	P	p	p	p	P				

その他

ボタン	ローマ字						かな	
	あ・ア		A		a		あ・ア	
	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト	キーのみ	キー+シフト
A	a	A	A	a	a	A		
S	s	S	S	s	s	S		
D	d	D	D	d	d	D		
F	f	F	F	f	f	F		
G	g	G	G	g	g	G		
H	h	H	H	h	h	H		
J	j	J	J	j	j	J		
K	k	K	K	k	k	K		
L	l	L	L	l	l	L		
「」	注1参照							
Z	z	Z	Z	z	z	Z		
X	x	X	X	x	x	X		
C	c	C	C	c	c	C		
V	v	V	V	v	v	V		
B	b	B	B	b	b	B		
N	n	N	N	n	n	N		
M	m	M	M	m	m	M		
、。	、。	、。	、。	、。	、。	、。	、。	、。

注1：(1)ボタンは押すたびに文字が次の順で切り換わります。

「」：

かなめくり入力時のみ、「」と「。」の入力でも使用します。

参照☞P.32「文字ボタンの記号を入力する」

目的の文字を通りすぎたときは(シフト)+(1)で前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

注2：(2)ボタンで入力できる文字は次のとおりです。

あ・ア(キーのみ)：「-」(長音)

A・a(キーのみ)：「-」(ハイフン)

あ・ア(+シフト)、A・a(+シフト)：「-」(マイナス)

注3：(3)ボタンは押すたびに文字が次の順で切り換わります。

あ・ア：「、。」

A・a：「、。」

「.」は、ピリオドです。

注4：かなめくり入力時のA・aは、ローマ字入力時のA・aと同じです。

入力文字表（かなめぐり入力）

ボタン	押す回数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Ⓐ	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お
Ⓑ	か	き	く	け	こ	か	け			
Ⓔ	さ	し	す	せ	そ					
Ⓛ	た	ち	つ	て	と	つ				
Ⓣ	な	に	ぬ	ね	の					
Ⓨ	は	ひ	ふ	へ	ほ					
Ⓜ	ま	み	む	め	も					
Ⓡ	や	ゆ	よ	や	ゅ	よ				
Ⓞ	ら	り	る	れ	ろ					
Ⓟ	わ	を	ん	ゐ	ゑ	わ				
Ⓛ;Ⓡ	°	°	「	」	:	‘				

目的の文字を通りすぎたときはシフトを押しながら文字ボタンを押すと、前の文字に戻すことができます（リバース機能）。

注1: Ⓡボタンの「°」と「°」は単独では入力できません。

ネガ文字および点滅文字がない状態でⓁ;Ⓡを押すと、「」：‘’が切り換わります。

漢字変換表

ここでは、区点コードを掲載しています。JISコード・シフトJISコードをお使いになるときは、市販の辞書などを参照してください。

参照☞P.46「読みのわからない漢字を入力する（コード入力）」

!!注意!!

- ・漢字変換表はJISに基づき「音読み」で記載しています。本機の内蔵辞書は「音読み」もしくは「訓読み」だけを搭載している文字があり、「音読み」では変換できないことがあります。
- ・表にあげた文字と印刷される文字の字形が異なるものがあります。

JIS第1水準

*の欄の数字は区点コードの下1桁を表します。

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ア	1601～1609	亜 哒 威 阿 哀 愛 挨 始 逢
	1610～1619	葵 茜 稔 惡 握 濡 旭 草 芦 鯫
	1620～1629	梓 厚 幹 宛 姐 虬 鈴 紗 綾
	1630～1639	鮎 或 栗 裕 安 庵 按 暗 案 間
	1640～1641	鞍 杏
イ	1642～1649	以 伊 位 依 偉 囂 夷 委
	1650～1659	威 尉 惟 意 慰 易 椅 為 畏 異
	1660～1669	移 維 緯 胃 姜 衣 謂 達 遣 医
	1670～1679	井 亥 域 育 郁 磯 一 老 溢 逸
	1680～1689	稻 荻 苜 鰯 允 印 咽 員 因 姬
	1690～1694	引 飲 淫 胤 蔭
ウ	1701～1705	院 陰 隱 韻 时
	1706～1709	右 宇 烏 羽
	1710～1719	迂 雨 卯 鶴 窓 丑 碓 白 湫 嘘
	1720～1729	唄 蘭 蔑 鰐 姥 厥 浦 瓜 間 噇
	1730～1732	云 運 雲
エ	1733～1739	荘 餌 叡 営 要 影 映
	1740～1749	曳 栄 永 泳 洩 瑛 盈 穎 穎
	1750～1759	衛 詠 銳 液 疫 益 駛 悅 調 越
	1760～1769	閑 櫻 皐 円 園 壇 奕 宴 延 忽
	1770～1779	掩 援 沿 演 炎 燐 煙 燕 猥 緣
	1780～1786	艶 范 蘭 遠 鉛 鶯 塵
オ	1787～1789	於 汚 倭
	1790～1794	凹 央 奥 往 応
	1801～1809	押 旺 橫 歐 殲 王 翁 褐 燕
	1810～1819	鷗 黃 岡 沖 荻 億 屋 憶 聽 桶
	1820～1827	牡 乙 俺 卸 恩 温 穏 音
カ	1828～1829	下 化
	1830～1839	仮 何 伽 価 佳 加 可 嘉 夏 嫁
	1840～1849	家 寡 科 暇 果 架 歌 河 火 珂
	1850～1859	禍 禾 稼 簡 花 苛 茄 荷 華 蓉
	1860～1869	蝦 課 瞳 貨 迦 過 霞 蝙 俄 峨
	1870～1879	我 牙 画 置 芽 蛾 賀 雅 餓 駕
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
カ	1880～1889	介 会 解 回 塊 壊 邇 快 怪 悔
	1890～1894	恢 懐 戒 拐 改
	1901～1909	魁 晦 械 海 灰 界 皆 絵 芥
	1910～1919	蟹 開 階 貝 凯 効 外 咳 害 崖
	1920～1929	慨 慨 涯 碍 蓋 街 該 鐨 骸 涅
	1930～1939	馨 蛙 垣 柿 蜴 鈎 劇 嘵 各 廊
	1940～1949	括 捩 格 核 殼 獲 碩 穫 角
	1950～1959	赫 較 郭 閣 隔 革 學 岳 樂 額
	1960～1969	顎 掛 笠 樅 檻 楓 驁 割 喝
	1970～1979	恰 括 活 渴 滑 葛 揭 輻 且 鰹
	1980～1989	叶 桧 樂 鞍 株 兜 竈 蒲 釜 鐙
	1990～1994	囁 鴨 柏 茅 萱
	2001～2009	粥 刈 茄 瓦 乾 侃 冠 寒 判
	2010～2019	勘 勸 卷 喚 堪 炮 完 官 寬 干
	2020～2029	幹 患 感 慣 憶 換 敢 柑 桓 棺
	2030～2039	款 歎 汗 漢 洞 淹 環 甘 監 看
	2040～2049	竿 管 簡 緩 缶 翰 肝 艤 華 観
	2050～2059	諫 貫 還 鑑 間 閑 閔 陷 韓 館
	2060～2069	館 丸 含 岸 巍 玩 癌 眼 岩 瓣
	2070～2074	贋 雁 頑 頤 頤
キ	2075～2079	企 伎 危 喜 器
	2080～2089	基 奇 嬉 寄 岐 希 積 忌 挥 机
	2090～2094	旗 既 期 棋 畜
	2101～2109	機 帰 穀 気 汽 稼 祈 季 稀
	2110～2119	紀 微 規 記 貴 起 軌 輜 飢 駕
	2120～2129	鬼 亀 偽 儀 妖 宜 戲 技 摳 欺
	2130～2139	儀 疑 祇 義 蟻 誠 議 摶 菊 鞠
	2140～2149	吉 吃 噎 桔 橋 詰 犬 犁 却
	2150～2159	客 腳 唐 逆 丘 久 仇 休 及 吸
	2160～2169	宮 弓 急 救 朽 求 汲 泣 灸 球
	2170～2179	究 翁 爰 級 糾 紿 旧 牛 居
	2180～2189	巨 拒 挹 爭 渠 虚 許 距 鋸 漁
	2190～2194	禦 魚 享 京
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
キ	2201~2209	供 俠 僕 兮 競 共 凶 協 匡
	2210~2219	卿 叫 喬 境 峠 強 張 快 恐 恭
	2220~2229	挟 教 橋 況 狂 狹 總 胸 脅 興
	2230~2239	嗇 鄉 鏡 韶 饗 驚 仰 凝 奕 晓
	2240~2249	業 局 曲 極 玉 桐 杆 僅 勤 均
	2250~2259	巾 錦 斤 欣 欽 琴 禁 禽 筋 繫
	2260~2268	芹 菌 莼 襪 謹 近 金 鈴 銀
ク	2269	九
	2270~2279	俱 句 区 狗 玖 矩 苦 車 駆 駢
	2280~2289	駒 具 愚 虞 嘘 空 偶 寓 遇 隅
	2290~2294	串 柳 飼 屑 屈
	2301~2309	掘 窟 杏 鞍 彎 窪 熊 窪 条
	2310~2319	栗 繚 桑 鍤 煉 君 薫 訓 群 軍
	2320	郡
ケ	2321~2329	卦 裂 祁 係 傾 刑 兄 啓 圭
	2330~2339	珪 型 契 形 径 惠 慶 慧 懇 揭
	2340~2349	携 敬 景 桂 溪 畦 稽 系 經 繼
	2350~2359	繫 莖 茎 荊 蛾 計 詣 警 頸
	2360~2369	鶴 芸 遇 鯨 戰 執 激 隘 衍
	2370~2379	傑 欠 決 漢 穴 結 血 訣 月 件
	2380~2389	僕 倦 健 兼 券 劍 嘘 圈 堅 嫌
	2390~2394	建 憲 懸 拳 捲
	2401~2409	檢 権 爪 犬 研 砥 緝 県
	2410~2419	肩 見 謙 賢 軒 遣 鍵 陰 顕 驗
	2420~2429	斎 元 原 戰 幻 弦 減 源 玄 現
	2430~2434	絃 故 言 謬 限
コ	2435~2439	乎 個 古 呼 固
	2440~2449	姑 孤 己 庫 弧 戸 故 枯 湖 狐
	2450~2459	櫛 裂 股 胡 茵 虎 誇 跨 鉛 扉
	2460~2469	顧 鼓 五 互 伍 午 兮 吾 娘 後
	2470~2479	御 悟 梧 橋 瑞 甚 語 誤 謾 翻
	2480~2489	乞 鯉 交 伎 侯 候 倉 光 公 功
	2490~2494	効 勾 厚 口 向
	2501~2509	后 喉 坑 堀 好 孔 孝 宏 工
	2510~2519	巧 巷 幸 広 庚 康 弘 恒 慌 抗
	2520~2529	拘 控 攻 昂 晃 更 杭 校 梗 構
	2530~2539	江 洪 浩 港 溝 甲 皇 硬 稿 糜
	2540~2549	紅 紗 紋 紗 網 耕 考 肯 肱 腔 齡
	2550~2559	航 荒 行 衡 講 貢 購 邻 酢 鉄
	2560~2569	礮 鋼 閣 降 項 香 高 鴻 剛 劫
	2570~2579	号 合 壕 拷 濟 豪 轟 趕 克 刻
	2580~2589	告 国 穀 酷 鵠 黑 獄 滉 腰 瘓
	2590~2594	忽 憊 骨 犹 辰
	2601~2609	此 頃 今 困 坤 墾 婚 恨 懇
	2610~2618	昏 昆 根 桐 混 痕 紺 良 魂
サ	2619	些
	2620~2629	佐 叉 咳 左 差 查 沙 瑟 砂
	2630~2639	詐 鎮 娑 坐 座 挫 債 催 再 最
	2640~2649	哉 塞 妻 宰 彩 才 探 栽 賽 淚
	2650~2659	災 采 犀 碎 碧 祭 奈 細 菜 裁
	2660~2669	載 際 劑 在 材 罪 財 洋 坂 阪

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
サ	2670~2679	堺 柿 肴 咲 崎 墙 砥 鷺 作 削
	2680~2689	昨 擃 昨 肅 檵 窄 策 索 錯 櫻
	2690~2694	鮭 笹 匙 冊 刷
	2701~2709	察 拶 摄 擦 札 穀 薩 雜 露
	2710~2719	鯖 涮 鑄 鮫 皿 曬 三 傘 參 山
	2720~2729	惨 撒 散 棈 燦 珊 產 算 繁 蚕
	2730~2736	讚 賛 酸 餐 斬 暫 残
シ	2737~2739	仕 仔 伺
	2740~2749	使 刺 司 史 翠 四 士 始 姉
	2750~2759	子 尸 市 師 志 思 指 支 孜 斯
	2760~2769	施 旨 枝 止 死 氏 獅 社 私 系
	2770~2779	紙 柴 肱 脂 至 視 詞 詩 試 誌
	2780~2789	諧 資 賦 雌 飼 齒 事 似 侍 兒
	2790~2794	字 寺 慈 持 時
	2801~2809	次 滋 治 爾 犀 蠶 鹿 式 磁 示
	2810~2819	耳 自 蒔 辞 沙 沙 鳴 竅 悅
	2820~2829	軸 宍 零 七 叱 執 失 簿 婆 室
	2830~2839	湿 漆 疾 質 実 蔔 簿 傅 故 斜
	2840~2849	屢 茜 緝 舍 写 射 捨 船 駕 借
	2850~2859	社 紗 者 謝 車 遮 虬 駕 若 疎 珠
	2860~2869	尺 約 灼 爵 酣 酥 錫 索 疎 種
	2870~2879	惹 主 取 手 朱 受 犹 寿 授 樹
	2880~2889	腫 趣 酒 首 儒 未 受 呪 寿 授
	2890~2894	緩 需 因 収 周
	2901~2909	宗 就 州 修 愁 拾 拈 洲 秀 秋
	2910~2919	終 繡 習 臭 舟 蔷 衆 蠶 十 叔
	2920~2929	輯 過 酬 首 醇 離 什 住 充
	2930~2939	從 戎 柔 汁 洩 縱 重 銃
	2940~2949	夙 宿 淑 祝 缩 廉 塘 熟 出
	2950~2959	述 俊 峻 春 瞬 竣 舜 駿 遵
	2960~2969	旬 植 殉 淳 準 潤 盾 純 巡
	2970~2979	醇 順 处 初 所 暑 曙 諸 庶
	2980~2989	署 書 薯 諧 諸 助 叙 女 序
	2990~2994	恕 鋤 除 傷 償
	3001~3009	勝 匠 升 召 哨 商 唱 嘉 権
	3010~3019	妾 委 宵 將 小 少 尚 昌 昭 晶
	3020~3029	彰 承 抄 招 掌 昇 昇 涉 湘 燒
	3030~3039	松 梢 樟 樹 沼 沙 稔 糟 粧 詔
	3040~3049	照 痘 省 硝 碓 稔 烟 証 詔
	3050~3059	紹 肖 菖 蒂 蕉 裳 衝 錘 鐘 障
	3060~3069	詳 象 賞 醬 鈺 鐘 場 壤 糟 詔
	3070~3079	丈 丞 兮 剩 城 場 壤 糟 詔
	3080~3089	情 援 条 杖 淨 狀 疊 蒸
	3090~3094	釀 錠 囑 塤 飾
	3101~3109	拭 植 瘡 煥 織 職 色 觸 審
	3110~3119	蝕 尿 尸 伸 信 侵 唇 嫩 申
	3120~3129	心 慎 振 新 晋 森 棕 薪 親
	3130~3139	疹 真 神 秦 紅 臣 忠 刃 廉
	3140~3149	身 辛 進 針 震 人 仁 刃 廉
	3150~3157	尋 甚 尽 腎 訊 迅 陣 鞠
ス	3158~3159	箇 諷

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	
ヌ	3160~3169	須 酔 国 廚 逗 吹 垂 帥 推 水		ツ	3637~3639	津 墜 椎
	3170~3179	炊 睡 粋 翠 衰 遂 醉 錐 鍾 隨			3640~3649	槌 追 鋸 痛 通 塚 梅 捱 櫻 佃
	3180~3189	瑞 鏡 崇 嵩 数 枢 趣 離 据 杉			3650~3659	漬 枯 辻 蔦 緹 鐸 椿 漬 坪 壺
	3190~3194	相 苔 頗 雀 裳			3660~3665	嬬 紬 爪 吊 釣 鶴
	3201~3203	澄 摺 尺		テ	3666~3669	亭 低 停 偵
セ	3204~3209	世 瀬 故 是 凄 制			3670~3679	刺 貞 呈 堤 定 帝 底 庭 廷 弟
	3210~3219	勢 姓 征 性 成 政 整 星 晴 棲			3680~3689	悌 抵 挺 提 梯 汀 稔 禎 程 締
	3220~3229	栖 正 清 牲 生 盛 精 圣 声 製			3690~3694	艇 訂 諦 踏 通
	3230~3239	西 誠 誓 請 逝 醒 青 静 斋 稅			3701~3709	邸 鄭 釤 鼎 泥 摘 罂 敵 滴
	3240~3249	脆 隻 席 惜 戚 斥 昔 析 石 積			3710~3719	的 笛 適 鑑 潑 哲 徹 撒 輻 迭
	3250~3259	籍 繢 脊 赤 跡 蹤 碩 切 拙			3720~3729	鉄 典 填 天 展 店 添 纏 甜 貼
	3260~3269	接 摂 折 設 窃 節 說 雪 絶 舌			3730~3737	転 頽 点 伝 殿 濱 田 電
	3270~3279	蟬 仙 先 千 占 宣 專 尖 川 戰		ト	3738~3739	兔 吐
	3280~3289	扇 摆 桤 梅 泉 浅 洗 染 潛 煎			3740~3749	堵 塗 姦 屠 徒 斗 杜 渡 登 菁
	3290~3294	煽 旋 穿 箭 線			3750~3759	賭 途 都 鏡 砥 砥 努 度 土 奴
	3301~3309	織 羨 脣 外 船 薦 詮 賤 践			3760~3769	怒 倒 党 冬 凍 刀 唐 塔 塘 套
	3310~3319	選 還 錢 銑 閃 鮮 前 善 漸 然			3770~3779	宕 島 鳴 悅 投 搭 東 桃 榆 榆
	3320~3324	全 禅 繕 膳 糜			3780~3789	盜 淘 湯 涛 灯 燈 當 痘 痘 等
ソ	3325~3329	増 塑 帷 措 曾			3790~3794	答 筒 糖 統 到
	3330~3339	曾 楚 狙 疏 疎 磔 祖 粗 粗 素			3801~3809	董 蕩 藤 討 膳 豆 踏 逃 透
	3340~3349	組 蘇 訴 阻 邊 鼠 僧 創 反 繁			3810~3819	鑑 陶 頭 滕 闢 勵 動 同 堂 尊
	3350~3359	倉 壽 壮 契 素 宋 層 匝 惣 想			3820~3829	憧 撞 洞 瞳 童 脫 道 銅 峠
	3360~3369	搜 掃 捕 搽 操 早 曹 巢 檜 槽			3830~3839	鵠 置 得 德 洗 特 督 禿 篤 毒
	3370~3379	漕 燥 爭 瘦 相 窓 糟 總 総 聰			3840~3849	獨 読 楠 機 凸 突 段 届 鳥 苦
	3380~3389	草 莊 葬 蒼 蕤 裳 走 送 遭 銀			3850~3859	寅 西 潤 噴 屯 懇 敦 池 豚 通
	3390~3394	霜 騷 像 增 憎			3860~3863	頓 吞 曇 鈍
	3401~3409	臓 藏 贈 造 促 側 則 即 息		ナ	3864~3869	奈 那 內 乍 凰 雍
	3410~3419	捉 束 測 足 速 俗 属 賊 族 總			3870~3879	説 灘 捺 鍋 檬 騣 緡 南 楠
	3420~3429	卒 袖 其 捅 存 孫 尊 損 村 遜			3880~3882	軟 難 汝
タ	3430~3439	他 多 太 汰 詫 唾 堕 妥 懈 打		ニ	3883~3889	二 尼 武 途 句 賑 肉
	3440~3449	柁 舶 楠 陀 駄 輛 体 堆 對 耐			3890~3894	虹 甘 日 乳 入
	3450~3459	岱 带 待 懈 戴 替 泰 滯 胎			3901~3907	如 尿 垣 任 妊 忍 認
	3460~3469	腿 苦 袋 貸 退 逮 隊 黑 鯛 代		ヌ	3908	濡
	3470~3479	台 大 第 醒 題 鷹 滯 瀧 卓 啄			3909	襦
	3480~3489	宅 托 拓 沢 灌 琢 託 鐸 濁			3910~3919	祢 寧 葱 猫 热 年 念 捻 燃 粘
	3490~3494	諾 草 凤 鮎 只			3920	
	3501~3509	叩 但 達 辰 奪 脱 翼 翼 沱		ノ	3921~3929	乃 廻 之 垅 囊 懈 濃 納 能
	3510~3519	棚 谷 狩 鰐 樽 誰 丹 单 嘘 坦			3930~3934	脳 腹 農 觀 蟲
	3520~3529	担 探 旦 歎 淡 漏 炭 短 端 篠		ハ	3935~3939	巴 把 播 犄
	3530~3539	綻 耳 胆 蛋 誕 鍛 团 壇 彈 断			3940~3949	波 派 琶 破 婆 罵 芭 馬 俳 廃
	3540~3544	暖 檻 段 男 談			3950~3959	拝 排 敗 杯 盆 牌 背 肢 輩 配
チ	3545~3549	值 知 地 弛 耻			3960~3969	倍 培 媒 梅 槆 煙 狹 買 壳 賠
	3550~3559	智 池 痴 稚 置 致 蜘 遷 驰 築			3970~3979	陪 這 蝇 稚 菲 菲 菲 剥 剥 拍
	3560~3569	畜 竹 筑 蕃 逐 秩 窓 茶 嫡 着			3980~3989	柏 泊 白 箔 粮 舶 薄 追 曝 漠
	3570~3579	中 伸 宙 忠 抽 昱 柱 注 虫 袋			3990~3994	爆 繩 莫 駁 麦
	3580~3589	註 酷 鑄 駐 樺 濑 猪 芸 著 貯			4001~4009	函 箱 稔 箸 肇 笮 檻 肌
	3590~3594	丁 兆 調 嘶 龍			4010~4019	畑 畠 八 鉢 濡 發 醒 髮 伐 罷
	3601~3609	帖 帳 庁 吊 張 彫 徵 懲 挑			4020~4029	拔 筏 開 鳩 嘶 嘴 哈 隅 伴 判
	3610~3619	暢 朝 潮 牖 町 眇 聽 脹 腸 蠶			4030~4039	半 反 叛 帆 撤 斑 板 汗 汗 版
	3620~3629	調 謀 超 跳 銚 長 頂 鳥 勅 挿			4040~4049	犯 班 畔 繁 般 蕃 販 範 采 煩
	3630~3636	直 朕 沈 珍 貨 鎮 陳			4050~4058	頒 飯 挽 晚 番 盤 蕃 販 蕃 販
	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヒ	4059	匪
	4060~4069	卑否妃庇彼悲雇批披斐
	4070~4079	比泌疲皮碑秘緋罷肥被
	4080~4089	誹費避非飛樋簸備尾微
	4090~4094	枇毘琵眉美
	4101~4109	鼻柊稗匹疋懿彥膝菱
	4110~4119	肘弼必畢筆逼桧姫媛紐
	4120~4129	百謬俵彪標水漂瓢票表
	4130~4139	評豹廟描病秒苗鑄鎔蒜
	4140~4149	蛭鰐品彬斌浜瀨貧賓頻
	4150~4151	敏瓶
フ	4152~4159	不付埠夫婦富富布
	4160~4169	府怖扶敷斧普浮父符腐
	4170~4179	膚美譜負賦赴阜附侮撫
	4180~4189	武舞葡蕪部封楓風葺落
	4190~4194	伏副復幅服
	4201~4209	福腹複覆淵弗払沸仏
	4210~4219	物鮒分吻噴墳憤扮焚奮
	4220~4225	粉糞紛雰文聞
ヘ	4226~4229	丙併兵墀
	4230~4239	幣平弊柄並蔽閉陞米貢
	4240~4249	僻壁碧別警蔑範偏変
	4250~4259	片篇編辺返遍便勉婉弁
	4260	鞭
ホ	4261~4269	保舗鋪圃捕歩甫補輔
	4270~4279	穂募墓慕戊暮母簿普倣
	4280~4289	俸包呆報奉宝峰峯崩庖
	4290~4294	抱捧放方朋
	4301~4309	法泡烹砲縫胞芳萌蓬
	4310~4319	蜂襄訪豊邦鋒飽鳳鵬乏
	4320~4329	亡傍剖坊妨帽忘忙房暴
	4330~4339	望某棒冒紡肪膨謀貌貿
	4340~4349	鉢防吠類北僕卜墨撲朴
	4350~4359	牧睦穆鉢勃沒殆堦幌奔
	4360~4363	本翻凡盆
マ	4364~4369	摩磨魔麻埋妹
	4370~4379	昧枚毎哩楨幕膜枕鮑柅
	4380~4389	鱗樹亦俣又抹末沫迄併
	4390~4394	繭磨万慢満
	4401~4402	漫蔓
ミ	4403~4409	味未魅已箕岬密
	4410~4418	蜜湊蓑稔脈妙耗民眠
ム	4419	務
	4420~4428	夢無牟矛霧鵠椋娘
メ	4429	冥
	4430~4439	名命明盟迷銘鳴姪牝減
	4440~4445	免棉綿緬面麵
モ	4446~4449	摸模茂妄
	4450~4459	孟毛猛盲網耗蒙儲木默
	4460~4469	目李勿餅尤戻初貰問閼
	4470~4472	紋門匂

	区点コード	*0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
ヤ	4473~4479	也治夜爺耶野弥
	4480~4489	矢厄役約葉訛躍靖柳藪
	4490	鍾
ユ	4491~4494	愉愈油癒
	4501~4509	諭輸唯佑優勇友宥
	4510~4519	悠憂揖有袖湧涌猶歎由
	4520~4528	祐裕誘遊邑郵雄融夕
ヨ	4529	予
	4530~4539	余与譽輿預傭幼妖容
	4540~4549	揚搖擁曜楊様洋溶熔用
	4550~4559	窯羊耀葉蓉要謡踊遙陽
	4560~4568	養慾抑欲沃浴翌翼淀
ラ	4569	羅
	4570~4579	螺裸來萊賴雷洛絡落酪
	4580~4587	亂卵嵐欄濫藍蘭覽
リ	4588~4589	利吏
	4590~4594	履李梨理璃
	4601~4609	痢裏裡里離陸律率立
	4610~4619	葎掠略劉流溜琉留硫
	4620~4629	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚
	4630~4639	阿凌察料梁涼獵療瞭
	4640~4649	糧良諒遼量陵領力綠倫
	4650~4659	厘林淋熐琳臨輪隣鱗麟
ル	4660~4664	瑠星涙累類
レ	4665~4669	令伶例冷励
	4670~4679	嶺怜玲礼苓鈴隸零靈
	4680~4689	齡曆歷列劣烈裂廉恋憐
	4690~4694	漣煉簾練聯
	4701~4703	蓮連鍊
ロ	4704~4709	呂魯櫓爐賂路
	4710~4719	露勞妻廊弄朗樓榔浪漏
	4720~4729	牢狼籠老聲蠍郎六麓祿
	4730~4732	肋錄論
ワ	4733~4739	倭和話歪賄脇惑
	4740~4749	梓鷺互亘鰐詫藁蕨椀澗
	4750~4751	碗腕

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

区点コード *0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

JIS第2水準

文字上の2桁の数字は点コードを表します。従つて「丼」の区点コードは「4807」となります。

区	区点コード
48	07 10 11 14 17 19 22 28 37 39 42 44 45 46 47 丂 乖 乘 豫 式 亞 尤 仄 佚 佛 尸 侈 侏 侘 佻
	50 52 54 57 58 66 70 71 77 82 83 85 89 90 94 侑 來 酒 祖 俗 倍 侔 侔 會 偕 偽 優 僥 傲
49	03 06 07 08 11 13 19 20 27 28 30 45 53 56 59 傳 僞 僭 僮 僮 僮 兒 兮 究 宛 冲 刎 濟
	60 61 62 64 66 67 70 73 74 75 78 79 82 84 87 凡 處 凤 凰 凰 刁 刮 刁 刁 刈 刈 剪 刈 刈 刈
	88 劍
50	01 06 14 19 21 22 28 32 36 43 45 46 50 54 55 辨 劲 動 匣 医 医 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍 卍
	56 63 67 69 71 74 75 76 81 82 84 86 89 91 92 曼 叴 吻 問 問 問 問 問 問 問 問 問 問 問 問 問
51	03 04 12 13 21 23 25 29 34 35 37 38 39 40 咤 咳 哮 哮 哮 哮 哮 哺 哺 哺 哺 哺 哺 哺 哺
	43 44 45 46 47 48 50 60 61 62 65 66 68 80 81 嗚 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆 嘆
	82 83 89 91 囁 囁 囁 囁
52	01 02 04 05 06 07 10 14 27 28 31 37 43 44 47 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈 圈
	50 53 56 62 64 67 68 69 70 71 72 78 80 83 85 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊 壊
	87 90 91 93 94 奎 奎 奎 奎
53	01 04 10 16 17 20 22 24 25 27 28 30 31 33 34 奸 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾 妾
	40 43 45 46 48 52 57 59 60 65 66 68 73 74 75 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌 嬌
	76 79 82 83 84 88 91 93 94 參 寶 將 將 將 將 將 將 將 將 將 將 將 將 將 將 將
54	02 08 10 21 23 26 30 34 37 40 53 54 62 64 65 屏 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳 岳
	71 72 73 76 80 83 91 帛 带 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷 帷
55	02 12 15 24 28 29 30 34 35 39 41 42 43 47 49 廳 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻 廻
	51 54 57 59 61 64 68 81 82 83 84 89 91 92 徨 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付 付
56	01 02 06 07 09 10 12 19 21 25 32 33 35 38 悄 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆 愆
	40 43 44 45 47 54 61 62 63 64 65 66 67 69 70 愴 愴 愴 愴 愴 愴 愴 愔 愔 愔 愔 愔 愔 愔 愔
	71 73 77 80 82 88 92 懷 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈 懈
57	03 04 05 06 08 14 15 17 19 22 25 29 33 34 36 截 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰 戰
	37 38 39 40 41 42 47 48 49 51 52 60 61 64 68 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋 拋
	70 72 73 74 78 80 83 85 88 91 94 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃 揃
58	03 05 19 21 27 28 32 38 42 43 48 53 57 62 66 擅 擲 擲 擷 擷 攝 攝 攝 攝 攝 攝 攝 攝 攝
	67 69 71 74 76 79 80 82 84 85 86 92 昵 昂 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏 晏

区	区点コード
59	03 09 10 11 15 16 20 21 25 30 32 38 40 45 56 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖 曖
	57 58 64 69 70 71 73 74 76 80 81 89 94 栢 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜 桜
60	03 05 07 10 11 20 23 24 31 32 38 39 40 49 52 棕 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒 椒
	56 59 61 66 71 75 76 82 84 92 93 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻 櫻
61	01 02 03 04 05 06 08 11 13 15 16 21 25 39 51 槺 藥 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺 槺
	54 59 60 61 63 64 65 70 79 84 85 87 88 89 殷 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺 爺
62	05 06 07 11 13 15 17 20 23 24 25 26 28 33 34 泪 淚 行 淚 泣 泣 泣 泣 泣 泣 泣 泣 泣 泣 泣 泣
	36 38 41 48 53 55 56 64 66 70 74 75 77 84 85 漱 淨 浅 涅 涅 涅 涅 涅 涆 涆 涆 涆 涆 涆 涆 涆
	87 89 90 91 92 93 94 漱 漑 漑 漑 漑 漑 漺 漺 漺 漺 漺 漺 漺 漺 漺
63	07 23 24 26 28 32 34 38 41 44 45 47 49 53 54 謹 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤 澤
	55 57 58 61 64 65 66 68 69 70 74 76 78 81 83 爍 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙 炙
	85 86 89 92 93 94 熾 燒 燒 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧
64	02 05 07 08 10 20 30 34 36 37 42 45 47 48 49 熾 燒 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧 燧
	51 52 54 55 56 57 60 61 63 65 71 72 74 76 79 熯 默 默 默 默 默 默 默 默 默 默 默 默 默 默 默
	84 85 86 90 瑪 瑪 瑪 瑪
65	01 11 16 17 20 35 36 38 40 47 51 52 53 54 55 瓠 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊 蔊
	58 59 60 66 67 71 76 77 78 82 90 91 瘡 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘 痘
66	01 03 11 14 18 19 24 25 30 33 35 39 40 43 44 癒 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短 短
	45 48 52 53 54 55 59 63 66 68 70 71 76 81 88 睛 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉 眉
	89 93 瞂 瞂
67	01 06 09 10 11 12 14 16 17 19 20 23 24 25 38 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧 磧
	39 40 43 47 50 53 55 62 65 66 84 88 90 94 稠 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲 稲
68	03 05 06 07 10 14 15 18 21 22 23 27 31 32 33 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍 筍
	34 36 38 39 44 49 55 59 62 75 78 79 80 81 86 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾 簾
	93 94 糺 糺
69	11 15 16 19 20 21 24 26 28 33 37 40 43 44 48 紺 絲 紺 絲 紺 絲 紺 絲 紺 絲 紺 絲 紺 絲 紺 絲
	49 51 52 55 63 65 71 72 82 85 86 90 92 縣 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱 縱
70	05 11 17 19 20 23 25 29 30 38 39 42 44 45 46 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩 繩
	56 59 60 61 65 66 69 70 72 74 76 80 84 85 89 聊 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚 聚
	90 91 94 脛 脣 脣 脣

区	点コード
71	01 03 05 07 15 17 20 25 26 29 30 33 34 37 42 隋 脩 腸 膀 膜 膜 膜 臀 臀 臀 臀 臀 臀 臀 臀 臀 臀 44 47 48 50 51 53 54 56 59 67 69 74 77 85 87 央 舟 舛 舻 舒 舒 舒 舒 舒 舒 舒 舒 舒 舒 舒 舒 90 93 苞 莓
72	02 06 07 11 12 17 23 24 29 33 53 63 80 81 84 苟 苟 茄 茄 苣 苣 莊 莊 茶 茶 莉 莉 重 夢 萬 莽 蔡 莺 90 蓼
73	01 02 03 08 10 11 12 14 15 18 20 22 26 27 30 蓆 蓆 蓆 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 蕃 34 35 42 43 45 46 53 54 55 57 58 65 66 68 70 蘭 蘆 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 虞 71 74 76 78 80 81 82 83 85 87 89 91 93 94 蜃 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 蟒 02 04 05 07 09 11 15 17 19 20 21 24 27 33 42 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 蝶 44 48 54 56 64 65 66 67 70 77 78 83 84 88 94 衛 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 衣 01 07 25 30 34 35 36 38 39 42 44 46 47 48 54 襦 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 褥 56 57 59 61 62 63 64 66 69 71 78 79 80 83 85 誣 誣 誣 說 說 說 說 說 說 說 說 說 說 說 說 88 90 93 讖 譚 02 05 06 08 09 10 17 18 27 34 37 40 42 45 46 譽 讀 離 讀 讀 豈 讀 豈 豈 豈 豈 豈 豈 豈 豈 豈 48 51 52 59 61 62 66 68 69 71 76 77 78 90 91 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 賽 02 06 09 13 15 16 20 21 22 24 28 31 34 49 50 蹠 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 蹤 52 53 59 60 64 66 68 69 76 78 80 84 85 86 87 轆 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 輛 78 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 邊 16 17 18 20 21 22 23 24 25 33 36 41 44 45 46 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 邇 48 54 56 57 71 72 73 76 77 78 79 80 85 87 94 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 醫 02 10 11 15 17 20 24 36 41 43 44 47 51 56 57 錢 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 鍼 65 69 72 79 83 91 92 閨 閨 閨 閨 閨 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 閘 07 08 10 15 21 24 25 27 36 39 40 43 46 48 53 隘 限 限 限 限 限 限 限 限 限 限 限 限 限 限 限 54 55 62 79 83 84 87 88 89 93 94 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 鞚 04 05 06 08 11 13 14 18 20 22 27 28 29 33 37 嵐 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 颶 38 39 44 45 49 57 58 59 62 63 64 65 68 70 71 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 駁 78 79 80 81 83 87 89 91 92 94 骼 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 骨 03 04 06 10 16 17 18 19 20 21 25 26 29 31 35 聳 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 鬚 45 47 48 52 53 54 55 56 57 59 62 64 65 69 71 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 72 73 77 84 88 89 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 鰐 02 06 08 11 12 17 20 21 32 34 42 45 47 51 53 鷦 鷯 鷦 鷯 鷦 鷯 鷦 鷯 鷦 鷯 鷦 鷯 鷦 鷯 鷦 64 72 76 77 78 82 86 微 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 鮑 01 02 03 堯 橫 逢

その他

文字上の数字はコードの下2桁を表します。

コード														
85	01 鷗	02 葛	03 祇	04 鮎	05 鏽	06 繡	07 驚	08 琢	09 啄	10 榛	11 塚	12 捱	13 壇	14 濱
	16 酸	17 鮎	18 蓼	19 莎	20 高	21 吉	22 昇	23 柳	24 楠	25 楠	26 拂	27 醬	28 麵	29 薑

絵・記号一覧表

!! 注意 !!

絵文字・記号一覧表の絵文字・イラスト・マークデザイン・記号と、印刷される結果が若干異なるものがあります。

絵文字

イラスト

分類	記号					
よこ	1		2		3	
	4		5		6	
	7		8			
たて	1		2		3	
	4		5			

マークデザイン

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16									

記号

分類	記号
記述	、。、。・：；？！－－／＼～＠～＿§†‡ ヽヾゞゞゞゞ全々々々…※*
省略	# No. & ナシ 秘印 濟注 控検 問答 祝休 (株) (有) TEL FAX ♀ ♂
カッコ	‘’ “” () [] { } 〈 〉 《 》 「 」 『 』 []
矢印	→←↑↓↖↗↙↔↔↑↓↔↔↑↓↔↔↑↓↔↔↑↓

2行数字

分類	記号
2桁数字	00～99

その他

外枠・表組み一覧表

!! 注意 !!

外枠・表組み一覧表の外枠・表組みと、印刷される結果が若干異なるものがあります。

1		21		41		61	
2		22		42		62	
3		23		43		63	
4		24		44		64	
5		25		45		65	
6		26		46		66	
7		27		47		67	
8		28		48		68	
9		29		49		69	
10		30		50		70	
11		31		51		71	
12		32		52		72	
13		33		53		73	
14		34		54		74	
15		35		55		75	
16		36		56		76	
17		37		57			
18		38		58			
19		39		59			
20		40		60			

ローマ字変換表

あ	あ A	い I	う U	え E	お O
か	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ	さ SA	し SI	す SU	せ SE	そ SO
た	た TA	ち TI	つ TU	て TE	と TO
な	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は	は HA	ひ HI	ふ HU	へ HE	ほ HO
ま	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や	や YA	い YI	ゆ YU	いえ YE	よ YO
ら	ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
わ	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん	ん N+(Y以外の子音) (例) N+N→ん N+P→んP				
が	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ	ざ ZA	じ ZI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
だ	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ	ぱ PA	ぴ PI	ぶ PU	べ PE	ぱ PO
きゃ	きや KYA	きい KYI	きゅ KYU	きえ KYE	きょ KYO
しゃ	しゃ SYA	しい SYI	しゅ SYU	しえ SYE	しょ SYO
ちゃ	ちや TYA	ちい TYI	ちゅ TYU	ちえ TYE	ちょ TYO
てや	てや THA	てい THI	てゅ THU	てえ THE	てょ THO
にや	にや NYA	にい NYI	にゅ NYU	にえ NYE	によ NYO
ひや	ひや HYA	ひい HYI	ひゅ HYU	ひえ HYE	ひょ HYO
みや	みや MYA	みい MYI	みゅ MYU	みえ MYE	みょ MYO

りや	りや RYA	りい RYI	りゅ RYU	りえ RYE	りょ RYO
ぎや	ぎや GYA	ぎい GYI	ぎゅ GYU	ぎえ GYE	ぎょ GYO
じや	じや ZYA	じい ZIYI	じゅ ZYU	じえ ZYE	じょ ZYO
ぢや	ぢや JA	ぢい JYI	ぢゅ JYU	ぢえ JYE	ぢょ JYO
ぢゃ	ぢゃ DYA	ぢい DYI	ぢゅ DYU	ぢえ DYE	ぢょ DYO
びや	びや BYA	びい BYI	びゅ BYU	びえ BYE	びょ BYO
ぴや	ぴや PYA	ぴい PYI	ぴゅ PYU	ぴえ PYE	ぴょ PYO
くあ	くあ QA	くい QI	くう QWI	くえ QWE	くお QWO
ぐわ	ぐわ GWI	ぐう GWU	ぐえ GWE	ぐお GWO	
つか	つか TSA	つい TSI	つえ TSE	つお TSO	
でや	でや DHA	でい DHI	でゅ DHU	でえ DHE	でよ DHO
ふあ	ふあ FA	ふい FI	ふい FYI	ふえ FE	ふお FO
ふや	ふや FYA	ふい FYI	ふゅ FYU	ふえ FYE	ふよ FYO
うあ	うあ VA	うい VI	うう VYI	うえ VE	うお VO
うや	うや VYA		うゅ VYU		うよ VYO
あ	あ LA	い LI	う LU	え LE	お LO
か	か LKA			け LKE	
き	つ LTU 同一の子音+子音=つ+子音 (N以外有効)				
文	や LYA		ゆ LYU		よ LYO
字	わ LWA				

その他

おもな仕様

■入力

入力装置	JIS配列キーボード式（59鍵）
入力状態	文字ボタン39、機能ボタン20 ローマ字入力、かなめぐり入力、ABC入力、小文字入力、 絵文字（記号）入力
漢字変換方式	学習機能付き最長一致熟語／単漢字変換方式 熟語変換辞書 約63,000語（熟語学習容量 約20語） 単漢字変換辞書 約10,000語（単漢字学習容量 約30語）

■表示

表示装置	ドットマトリクスSTN液晶パネル
文字表示	102dot×32dot(6chr×2line)
インジケーター	23個

■記憶

文章メモリー	約90文字
内蔵ファイル	約90文字/5ファイル

■フォント

内蔵文字数	全5,259文字
	漢字 JIS第1水準2,965文字
	漢字 JIS第2水準（一部）1,121文字
	漢字 その他29文字
	ひらがな・カタカナ
	英数字・記号・その他
内蔵フォント	ピットマップフォント 3種類 (ゴシック、明朝体、てがき)

■印刷

印刷方式	熱転写PRO印刷方式
印刷濃度	-3～ふつう～+3(7段階)
ヘッド構成	サーマルヘッド・96dot, 180dpi(最大印刷幅 13.5mm)
テープカートリッジ	「テプラ」PROテープカートリッジ4・6・9・12・18mm幅
カッター	オートカッター

■印刷機能

文字構成	6段階
P字	16 × 16dot (6ポイント相当)
S字	24 × 24dot (10ポイント相当)
M字	32 × 32dot (13ポイント相当)
L字	48 × 48dot (19ポイント相当)
G字	64 × 64dot (26ポイント相当)
U字	96 × 96dot (38ポイント相当)
	※テープ幅によって印刷できない文字サイズがあります。
特殊印刷	リボン連続印刷、鏡文字印刷、お名前タグ印刷、ピットコード印刷

■電源、その他

電源	ACアダプタ（専用のACアダプタ AC0615Jを使用のこと） アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池（単3形×6本）
電源スイッチ	ボタン式
パワーオフ	操作終了後、約5分で電源を自動的にオフする
外形寸法	約183(W) × 219(D) × 58(H)mm
質量	約580g(電池、テープカートリッジを除く)
同梱品	基本操作マニュアル（保証書付） 試用PROテープカートリッジ ※SR170, SR170AM, SR170RYAZのみ同梱
別売品	ACアダプタ（AC0615J） PROテープカートリッジ ヘッド・クリーニングテープ（SR18C） ハーフカッター（RH24） トリマー（RT36W） お名前タグメーカー（SRT10） スナップボタン（SRTB1） セミハード収納ケース（SR11B） システムトランク（SR10BT） システムケース（SR9H） テープカートリッジケース（SR4TH）

■使用条件

動作環境	温度：10～35℃ 湿度：30～80%（非結露）
保存環境	温度：-10～55℃ 湿度：5～80%（非結露）

索引

記号

-  (印刷) 17, 61
-  (印刷不可行頭マーク) 19, 37
-  (絵・記号) 18, 41, 42
-  (カーソルボタン) 18, 35
-  (漢字変換、スペース入力) 18, 34
-  (空白行頭マーク) 19, 37
-  (罫入力記号) 43
-  (削除、取消) 18
-  (実質行頭マーク) 19, 37
-  (シフト) 18, 35
-  (書体) 17, 49
-  (全角スペース) 34, 43
-  (選択、改行) 18
-  (縦・横) 17, 47
-  (電源) 18
-  (入力モード) 18, 27
-  (半角スペース) 34
-  (ファイル) 18, 69
-  (フルメモリーマーク) 19
-  (プレビュー) 17, 58
-  (編集) 17, 50
-  (マーク表示用イメージ) 44
-  (文字サイズ) 17, 48
-  (文字モード指定マーク) 19, 50

英数字

- 2桁数字 (記号) 42, 45
- ABC (大文字) 入力 18, 31
- abc (小文字) 入力 18, 31
- ACアダプタ 10, 21
- ACアダプタ差込み口 15
- JISコード 46
- RH24 (ハーフカッター) 11
- RT36W (トリマー) 11
- SR4TH (テープカートリッジケース) 11
- SR9H (システムケース) 11
- SR10BT (システムトランク) 11
- SR11B (セミハード収納ケース) 11
- SR18C (ヘッド・クリーニングテープ) 11
- SRT10 (お名前タグメーカー) 11, 67
- SRTB1 (スナップボタン) 11, 67

あ

- アイロン転写テープ 78
- アイロンラベル 78
- 後揃え (割付け) 51, 55
- 後寄せ (定長印刷) 51, 55
- アルカリ乾電池 21
- アルカリ (電池種類) 71, 74
- イラスト 41
- ～一覧表 96
- ～を入力する 43
- 印刷 58, 61
- 印刷イメージ 58
- 印刷濃度 71, 72, 78
- 印刷不可行頭マーク () 19, 37
- インジケーター 20
- 上カバー 15, 23
- 英数字 31
- 絵記号 41
- ～一覧表 94
- ～メニュー一覧 41
- ～を入力する 42
- 絵文字 41
- ～一覧表 94
- エラーメッセージ 79
- オートカッター 3, 14
- オート・パワーオフ 25
- 送りカット (テープ送り) 25
- 送り長指定 59, 60
- 送り長さ 59, 60
- お手入れ 83
- お名前タグ 17, 66
- お名前タグメーカー (SRT10) 11, 67

か

- カーソル 19, 35
- ～の位置 (編集) 50
- カーソルボタン () 18, 35
- 改行 18, 37
- 改段落 18, 39
- 鏡文字 64, 78
- 鏡文字印刷 64, 65
- 確定文字 19
- 各部の名前 15
- 影文字 (飾り字) 51, 56
- 飾り字 (編集) 50, 51, 56
- カタカナ 18, 28, 29
- カッター 78
- カットマーク 54, 61

かなめくり入力	27, 29, 33
～インジケーター	20, 27
入力文字表	87
画面	19
仮確定文字	19
環境設定	18, 71
～メニュー一覧	71
漢字	30
漢字変換表	88
記号	32, 41
～一覧表	96
記号めくり入力	32
機能の説明（編集）	50, 53
行	37
鏡像	64, 65
強調（飾り字）	51, 56
行頭マーク（ ①②…× , ①②…× ）	19, 37
極少（余白）	51, 54
均等割（定長印刷）	51, 55
均等割（割付け）	51, 55
空白	34, 60
空白行頭マーク（ ①② ）	19, 37
区点コード	46, 88
クラフトラベル（白文字）	78
グレー文字ラベル	78
罫入力記号（ 罫 ）	43
コード入力（漢字検索）	18, 46
ゴシック（書体）	49, 52
固定フック	15

さ

削除	36
システムケース（SR9H）	11
システムトランク（SR10BT）	11
実質行頭マーク（ ①② ）	19, 37
指定範囲（編集）	50
自動カット	62
ソフトJISコード	46
斜体（飾り字）	51, 56
充電式ニッケル水素電池	21, 22, 74
仕様	100
消去	18, 36
消去（ファイル）	70
上質紙ラベル	78
初期化	75, 76
初期設定値	73
書体	49
～を変える	49
書体（編集）	50, 52
白抜き（飾り字）	51, 56
白抜影（飾り字）	51, 56
スナップボタン（SRTB1）	11, 67

スペース	18, 34
セミハード収納ケース（SR11B）	11
全角スペース（ <u>　</u> ）	34, 43
全消去	18, 36
全文消去（消去）	36
操作パネル	17
促音	33
外枠	53
外枠・表組み	
～一覧表	98
～をつける	53
外枠・表組（編集）	50
外枠（編集）	51

た

耐熱ラベル	78
濁音	33
たて書き	17, 45, 47, 52
～インジケーター	20, 47
縦・横（編集）	50, 52
段落	39
～を分割する	40
ディスプレイ	19
定長印刷（編集）	50, 51, 55
テープ送り	17, 25, 59
～メニュー一覧	59
テープカートリッジ	23, 78
～をセットする	23
～を使いわける	78
テープカートリッジケース（SR4TH）	11
テープカートリッジセット部	15
テープ確認窓	15
テープ通路	15
テープ出口	15
テープ幅	37, 57
てがき（書体）	49, 52
デモ印刷	77
電源	
～を入れる	24
～を切る	26
電源（ ON/OFF ）	18
電池	21
電池カバー	21
電池ケース	16
電池種類	71, 74
点滅文字	19
同梱品	10
登録（ファイル）	69
特殊印刷	17, 64
～メニュー一覧	64
トリマー（RT36W）	11

な

中揃え（割付け）.....	51, 55
中寄せ（定長印刷）.....	51, 55
ニッケル水素（電池種類）.....	71, 74
入力方式.....	18, 27
入力モード.....	18, 27
入力文字一覧表.....	85
入力文字表.....	85
～かなめくり入力.....	87
ネガ文字.....	19
熱収縮チューブ.....	78

は

ハーフカッター（RH24）.....	11
半角スペース（「」）.....	34
半濁音.....	33
ピッコード.....	17, 67
表組み.....	53
表組み（編集）.....	51
ひらがな.....	18, 28, 29
ファイル.....	69
～を消去する.....	70
～を登録する.....	69
～を呼び出す.....	70
ふつう（飾り字）.....	51, 56
ふつう（文字間）.....	51, 54
ふつう（余白）.....	51, 54
フルメモリーマーク（◀）.....	19
プレビュー.....	58
分割（段落）.....	40
文章.....	

～を消去する.....	36
～を作る.....	35
～を入力する.....	35
文章繰り返し.....	65
文章の間隔.....	65
ヘッド・クリーニングテープ（SR18C）.....	11, 83
別売品.....	11
変換.....	30
編集.....	50
～メニュー一覧.....	51
保存値（環境設定）.....	71, 73
～復元.....	74
～変更する.....	73
本体初期化.....	76

ま

マーク.....	41
～デザイン一覧表.....	96
～を作成する.....	44
マーク表示用イメージ（□）.....	44
前揃え（割付け）.....	51, 55

前寄せ（定長印刷）.....	51, 55
----------------	--------

マグネットテープ.....	78
マスキングテープ「mt」ラベル.....	78
密着（文字間）.....	51, 54
明朝体（書体）.....	52
メニュー一覧.....	

絵・記号.....	41
環境設定.....	71
テープ送り.....	59
特殊印刷.....	64
編集.....	51

文字.....	
～を削除する.....	36
～を挿入する.....	36
～を入力する.....	27, 35
文字間（編集）.....	50, 51, 54
文字サイズ.....	48
～インジケーター.....	20, 48
～を指定する.....	48
文字サイズ（編集）.....	50, 52
文字入力.....	27
文字ボタン.....	18
文字モード指定マーク（▶）.....	19, 50

や

有効範囲（編集）.....	50
拗音.....	33
よこ書き.....	17, 47, 52
余白（編集）.....	50, 51, 54
呼出（ファイル）.....	70
読み.....	30
読み短縮.....	18, 31

ら

ラベルを貼る.....	63
りぼん.....	78
りぼんの長さ.....	64
りぼん連続.....	64
ローマ字／かな.....	27
ローマ字入力.....	27, 28
ローマ字変換表.....	99

わ

割付け（編集）.....	50, 51, 55
--------------	------------

アフターサービスについて

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機およびご使用中のACアダプタ・テープカートリッジなど一式と保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店までお持ちください。なお、修理・検査をおこなうと、登録されているファイル・入力した文章のデータや学習内容などは消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

■最新情報については

「テプラ」に関する最新の情報は、当社のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.kingjim.co.jp/>

■お客様登録のお願い

このたびはキングジム製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。お客様登録をしていただきますと、製品・サービスに関する情報提供やお問い合わせの受付など、キングジムがご提供するサポート・サービスを受けることができます。

お客様の個人情報の取り扱いについて

お客様からいただいた個人情報は、以下の目的で使用し、厳正な管理をいたします。

サービスやサポートのご提供・商品のご案内・統計情報としての利用・製品の改善等

なお、当社の個人情報の取り扱いの詳細につきましては、下記の当社ホームページをご覧ください。

お客様登録はこちらから▶ <https://kingjim.jp/user/>

「テプラ」PRO SR170 取扱説明書

2025年2月 第5版

株式会社キングジム

〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目10番18号

SR170

取扱説明書

お客様相談室 ☎ 0120-79-8107

携帯電話からの場合 0570-06-4759 (通話料お客様負担)

株式会社 キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031
<https://www.kingjim.co.jp/>